

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

池田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙等発行事業	401	補助金 401	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	池小校区内町会活動が不明確であった。地域コミュニティの実施した事業はどんなことをしているのか解りづらい	町会外の人にも自分が住んでいる地域の様子を知る事ができた ・提案事業を見やすく・わかりやすく紹介することができた	コミュニティ紙を見てイベントに参加したという人があった。 ・地図をモチーフにわかりやすく評価されている ・ポイ捨てとならない保存版と明記したのもよかったと聞き及んでいる。	いかに多くの市民の方にコミュニティを理解していただき自ら意見・提案をしてみたいと思ってもらえるように工夫したい。 7年目が過ぎ今一度コミュニティに対しての関心度の調査を広報紙を使ってアンケートをとることが必要と考える。			地図を使うなど事業を見やすく紹介、毎年度工夫が見受けられる。今後も引き続き創意工夫による充実した紙面づくりを期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
池田地域コミュニティ推進協議会事務所運営推進事業	926	補助金 926	協議会の事務所を置き、作業や外部からの通信、来訪等に対応し、活動の円滑化と活性化を推進する。	・市立池田会館内に設置(平成23年度から) ・専属女性事務員1名、男性会員3名(輪番駐在制)で運営。 ・PC×2、プリンター×1、TEL(FAX)×1、プロジェクター×1、スクリーン×1、事務机、会議机、椅子等を保有。	・開所後3年が経過し、運営も軌道に乗ってきた。 ・事務員のスキルにより処理能力がアップ。	・事務処理のスピード化が図れた ・補助金事業のパンフレット等、関係書類が自前での作成が可能になった。 ・各事業の事務費用が削減できた。 ・本協議会内の書類様式の統一標準化が出来つつある。 ・ホームページの内容も充実してきた(H23年11月開設後、H26年3月末アクセス数21,800余)	・ペーパーレス化を図り費用削減に努める。(会員の都合もあるので無理は出来ないが。)		これまでの経験により、事務処理やホームページ作成等、効率的に良い動きがきている。今後も協議会の活動活性の拠点として期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
地域自主防災・防災体制強化事業	2,700	器具費 500 補助金 2,200	自主防犯・防災組織への資機材配備、自主防災・防犯組織を中心とした合同防災訓練及び防犯防災講演会を実施し防災・防災体制の強化を図る。	・校区内18自治会・町会のうち13の自治会・町内会により11自主防災会が組織化、設立される。 ・うち8自主防災会への資機材配備が完了。	・今年度新たに設立された自主防災会のうち綾羽・新町防災会に1次資機材配備を行った。(2次で終了) ・10自主防災会参加の合同防災訓練を実施。(オブザーバーとして菅原町防災会も参加)	・新たに菅原町防災会(菅原東・西合同)が設立された。 さらに綾羽1丁目防災会設立準備中。 ・池小校区自主防災会・連絡会(12自主防災会が参加)が発足した。	・末設立の3自治会・町会への働きかけ。 ・池小校区自主防災会・連絡会による「避難所運営協議会」の設立。 ・新規事業の抽出(例:古井戸を再生し防災井戸として活用する等)		池田小学校区の自主防災組織が合同で防災訓練を実施するなど、地域の防災活動大きく貢献したことを評価する。万が一災害が発生した時に有効活用できることなどを期待する。	危機管理課 安全防災事業費	
「ちいさな絵本館」推進事業	1,436	補助金 1,436	絵本の読み聞かせを通して地域住民の世代間交流の場を推進する。事業の拡充を進めるに当り、スタッフを募集する。絵本に関するセミナー等を定期的実施し、利用者間の交流を積極的に推進する。	創立3周年を迎え、スタッフによる運営も安定してきており、絵本の貸し出しや定期的イベントなどで来館者数も順調。しっかりと地域の子育て世代に活用されてきている。	・前年度に増して地城の子育て世代へ「ちいさな絵本館」の存在が浸透してきた。 ・絵本の読み聞かせ、お話し会の継続及び講演会の実施により、スタッフと利用者間の交流が深まってきている。 ・ホームページの充実により利用者及びスタッフが絵本館についての情報をすぐに得ることができ、より親しみを持てるようになった。	・スタッフの細やかな工夫により、子育て世代への快適な空間を提供できている。 ・ホームページでこまめに絵本館の様子を掲載することにより、利用者には絵本館をより身近なものに感じてもらえるようになり、また広い地域にこの活動を知らせることができるようになった。 ・蔵書はさらに充実しており、貸出数の増加を見ても利用者の満足度を高められていると考えられる。 ・利用者自身がブログなどで絵本館を紹介するケースも増えている。	・地域の人たちがさらに利用しやすい状況(開館日増・時間延長)を作りたいと思うが、現状スタッフ28名では難しい。 ・現在の利用者は母親と未就学の子供がほとんどであるが、それ以外の人たちがもっと出入りできるような工夫もあるはず。 ・今後、スタッフ人員の確保を考えながら現スタッフとも十分に協議を行い、来館者の増加を図っていききたい。また、ホームページはさらに工夫し、地域への周知を図っていききたい。		池田小学校区の子育て支援の場として定着してきており、子育て中の母親から利用するという声も聞かれる。利用者ニーズを把握し、更なる活動の充実を期待している。	子育て支援課 保健福祉事業費	
交通安全看板設置事業	150	補助金 150	安全・安心のまち池田の実現に向け、交通安全看板を作成し配置する。	・時間帯通行規制(7時~9時)の道路入口(一方通行)左右に規制看板は設置されていたが、看板が目立たないのか進入車があとをたたない。 ・道路幅員が狭いのスピードをゆるめない車が多い。	・目立つ看板に取り替え、誤進入車であっても違反を繰り返させないよう連続して看板を取り付けた。 ・T字路、三叉路、極端に狭くなっている箇所に、新たに看板を設置し、又歩行者にも注意を喚起する看板を設置した。	・通行規制時間帯の進入車が減少した。 ・看板の手前でブレーキランプの点滅回数が増えた。(上1小学生保護者・上1町会長談)	・本一方通行道路は市役所前及び関電前の信号を回避する為の抜け道になっているのではないかとされる。よって抜本的な対策(例えばスピードを出しにくい道路状況を作る等)が必要ではないかと考える。		看板の視覚的な効果により、自動車運転者だけでなく、自転車運転者及び歩行者にも交通安全の注意喚起を行うことができた。	交通・総務課 土木事業費	
辻ヶ池公園整備事業	450	修繕料 450	辻ヶ池公園を身近な公園に幼児を含めた家族同士が会話や軽食などを楽しめるコミュニティの場をつくる。	公園内に草に覆われた場所が少なく、地面に家族でくつろげる場所がない。また、風で裸土から土が舞い上がり公園が埃っぽい。	裸土のところに、平成26年3月末にヒメイワダレ草を植えて(12mx8m)草の絨毯を設けた。初夏までは養生中。	・約100㎡の草の絨毯上で、家族が軽食を取るなどの団楽を期待できる。一部、風による土の舞い上がりが防止できる。 ・芝生より維持管理がやりやすい。	草の絨毯範囲を拡大させること。		緑の広場づくりをテーマに『ヒメイワダレソウ』を植栽することで、利用者の憩いの場となっている。	みずとみどりの課 土木事業費	
廃土処理再生事業	100	補助金 100	辻ヶ池公園で家庭の植木鉢やプランタンなど廃棄に困る園芸土を処理して再利用する。	池田小学校区周辺に家庭の植木鉢やプランタンなどからでる不用園芸土を処理、再生する場がなかった。	辻が池公園に処理用ピットの設備を設けて、月1度の不用園芸土の回収処理、再生を実施した。処理、再生作業はNPO法人フラワーネットワーク(代表者:西垣八十三氏)のボランティアによる。	・不用園芸土の処分ができて、廃土の不法投棄防止、処理再生土の活用が可能となった。 ・月一度の実施利用者平均15名	・不用園芸土の処理、再生の広報 ・処理作業の要員確保 ・ピットカバーなど設備の点検補修	各自治会、自主防災組織及び協議会内の部会で評価し、協議会役員会で最終照査をしまとめる。	小さな絵本館も好評であり、息の長い活動に期待する。	みずとみどりの課 土木事業費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

池田駅前公園整備事業	1,447	修繕料	1,447	池田駅前公園を市民の憩いの場として整備する。	駅前公園南側樹木(都市の森)の間に休憩できる場所が無い	当初東屋を検討していたが、市の担当部局との協議により「シェードパーゴラ」という、日よけと、杉材のテーブル・椅子のセットを設置した。	この施設を利用して休憩したり、弁当を食べたりする人も多く、憩いの施設として沢山の方に利用されている。一時、椅子に設置主不明の座布団が2箇所設けられていた。公共物への私物の設置は感心しないし、雨に濡れたためかいつの間にか取り除かれていたが、早くも愛着を持たれているとも感じられる。	屋根の上に枯葉や小枝が乗るので定期的な掃除が必要。また、子どもが土足で椅子の上上がり、泥があがっているときがある。利用者にマナーアップを促したいが、池田小学校区住民のみの利用とも限らないので、啓発することが難しく感じられる。		池田駅前公園の『都市の森』において、休憩施設を設置することで、地域住民だけでなく、市民の憩いの場となっている。	みずとみどりの課 土木事業費	
池田駅前歩道改修事業	756	修繕料	756	池田駅前歩道の路面の滑り止めを実施し、歩行者の安全を向上させる。	駅前歩道橋や公衆トイレ前のレンガ調歩道が雨の日は特に滑りやすく大変危険である。(当初、駅前公園の歩道橋を滑り止め加工する予定だったが、道路課が改修工事を行う際あわせて処理するというので、てるてる広場公衆トイレ前歩道に場所を変更した。)	てるてる広場公衆トイレ前歩道に滑り止め加工を行った。(見た目に変化を及ぼさない加工)	滑り止めの効果により、以前に比べてグリップするようになり、雨の日でも安心して通行が可能となった。	経年劣化していくため効果が薄れることが予想される。その状況を確認して異常があれば市に報告をする。		滑り止め対策により、駅前歩道の安全性が確保されたと考える。	道路課 土木事業費	
池田小学校備品支援事業	100	器具費	100	野外活動等における子ども達の安全・指導等確保を目的として備品を支援する。	・ワイヤレスメガホンが配備されていなかったので校外学習(特に臨海学舎)時に配備の必要性を感じていた。	・メガホン・チューナーユニット・ハンド型マイク・スピーカースタンドを配備した。	・小学校の行事だけでなく、校区合同防災訓練等で重宝している。	・両手放しでの操作を可能にするタイプイン型ワイヤレスマイクロホンも同時に配備するべきであった。(児童の安全確保強化のためにも)		安全で安心な教育環境のみならず、非常時の周辺住民を含めた関係者の安全確保に資する環境が実現した。	管理部総務課 教育事業費	
マイタウンプロジェクト(MTP)フェスティバル実施事業	390	補助金	390	中学校関係者が中心となって進める住民交流の事業を支援する。夏と秋の2回、地域の子どもから大人までが楽しめる催しを開催する。	・平成24年7月実施の池小「平和のつどい」にうちわ1000本の支援及びコミュニティ推進協議会のPRコーナーを設置し参加したが子どもたちの繋がりが希薄だった。 ・平成24年11月の「池中MTPフェスティバル」開催前に、開催案内のチラシを校区全域に折込み配布したので参加者も増え盛況であった。	・池小「平和のつどい」に提供したうちわのデザインを小学校側に委託した結果、児童の描いた平和の像5枚がうちわに掲載され盛り上がりがあった。又子どもたちのつながりを強める為、金魚すくいを行った。大盛況であった。 ・「MTPフェスティバル」は諸般の事情により、池小開催となる。前年通り開催前のチラシを校区全域に折込み配布したのと、文化ラリーと同日開催となったので盛況であった。	・継続することにより、知名度も上がり活動を応援して下さる方が増えた。又地域の方々の参加も増加しつつある。 ・地域の方々の参加も徐々に増えると共に、子どもたち・学生との交流も増えたと思う。	・MTP活動に理解・協力を得る為、機関誌を発行し更なる知名度アップを図る事を考える。又お仕着せではなく学生の積極的に関与できる仕組みを考える。 ・平和のつどいを学校行事ではなく校区の祭りにしてはという地域の方々の意見も頂いているので学校側との調整が必要かと思える。		平成22年、池田中学校区の子どもたちの育ちのために、大人同士が顔見知りになることを目的に始まった本事業は6回目を数え、約800人の参加者があった。毎年、多くの地域住民が楽しめる有意義なイベントとなり、大変評価できる事業である。	教育政策課 教育事業費	
市民レクリエーション大会事業	350	行事報償金	350	校区実行委員会が主となり毎年、小学校運動場を会場にコミュニケーションの拡充とスポーツ意識の向上に伴う健康づくりを目指す。	・スポーツで健康を維持するという意識が乏しい。(特に高齢者) ・他地域はもちろん、同一地域内においても人と人のつながりが希薄に思われる。 ・池中での開催で参加者数が減少していた。	・池小での開催となり参加者数も1290名余と増加した。	・みなさんの笑顔、ご近所さんとの会話、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の参加により地域のつながりが強められた。 ・テント、敷物等の運搬・設置・後片付けを通じ、協働の精神が養われたのではないかと。	・車椅子での参加者に対する対応等について検討が必要。 ・池小のグラウンドが狭く感じられるようになってきたので工夫が必要。 ・こどもの人数が地域によって差が大きいため、一工夫を要する。		スポーツ推進委員が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費	
計	9,306			事業提案限度額	9,306千円							

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

細河地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価ポイント	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）	
		説明										
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費	
地域コミュニティ紙等発行事業	373	補助金 373	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	7月号は5月の総会での前年度活動報告と今年度予算額と活動計画。役員の変更があれば発表。新規会員の紹介。	地元にある神社仏閣を住職・神官より記事を寄稿してもらい正しい細河の歴史を説明。	時代的に読む時代から見る時代です。その方が理解度が深い。	北摂地区では一番小さな市となって来ました。発展的要素もなく、高齢化人口ばかりの多くなる街になり、何かをしなければ隣の市に吸収合併されるか、大きく北摂市の中の池田区になってしまいます。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
細河ホームページ作成事業	182	補助金 182	地域の観光資源等の最新情報を更新し、ホームページを通して地域の魅力を発信する。	文字を読むよりも総会ではパワーポイントで映像を見てもらって理解してもらう。		最近地方の来訪者から無二寺はどこですか？と尋ねられました。地元の方よりも歴史を勉強している方がよくご存じで尋ねてくれます。	最近地元の歴史を語り継ぐ機会が少なく、若者に引き継ぐことができないのでこれを機会に広めていきたい。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
細河ふれあい観光推進事業	100	補助金 100	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、細河PRイベントを行う。	『細河へいらっしやい』と誰でも歓迎してきた。	細河園芸センターで植木競り市の見学・農園で大根堀経験	野菜試食会は大好評	本当に細河の魅力を満喫したい方には企画内容が答えていないように思う。				観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
細河祭り運営事業	150	補助金 150	地域の活性化とコミュニティ意識の高揚を図るため地域住民が細河祭り運営事業を総合的に行う。	各町自治会から祭り担当者が選出され30年間継続されている。	今年も盛大に開催された。	地域のコミュニティに寄与	協議会会員と祭り担当がほぼ重複。今後も継続実施が重要である。				観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
細河地域活性化推進事業	3,153	補助金 3,153	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、「みどりの郷」観光案内所の運営、散策路管理及び地域特産品の朝市販売等一連の事業を総合的に行う。 ①細河ポストカード作成 ②細河ハイキングマップ作成 ③クールステーションへの協力 ④散策マップの作成 ⑤野菜類朝市販売 ⑥地元住人作成の工芸品展示販売 ⑦散策路の整備		①昨年度の「細河の四季」フォトコンテストの入選者の作品を絵葉書として細河を全国的宣伝。 ②表五月山よりも裏五月山コースのほうが野趣豊かで好きだという方が多く、専門家用にハイキングマップを作成しました。 ⑤テントやレジの整備等でだんだんと便利に実施できるようになった。包装等も上達し、スーパー品の包装くらいのレベルとなった。 ⑥墓参り・お見舞い・贈答用に生花・工芸品・手作り布ぞうりが好評である。 ⑦野趣豊かで専門家に人気。	最近地元以外の方の立ち寄りや問合せ、取材等が増えてきた。 ①都会に近い細河で田植・稲刈・彼岸花・ススキ・雪景色・狸・鹿などが簡単に見れます。 ⑤7年が経過し常連客も増えた。一度食した方は新鮮さを実感してくれ、地方の親戚に発送いただく方もある。また、販売場所での料理レシピ交換などコミュニケーションの場となっている。出品者が元気になり、畑での耕作も楽しみが増えた。 ⑦現在は参加者が少ないが、徐々に評判がよくなりリピーターが増えている。	コピー機やパソコンも整備していきたい。また、事務所や観光案内所をもつ協議会については、プラスの予算を組んで欲しい。 10年以上つづいた事業については、協議会の事業ではなく、市の恒久事業な事業として予算を確保し実施してほしい。 ②ラメン記念館訪問者の多い時代にこそ次の見せどころを企画すべき。都会に近いところに自然があり、温泉があり、ゴルフ場があり、野生生物が多く見られる細河をもっと宣伝していく企画が必要。 ⑤雨天時の販売場所が問題。来客用駐車場が少ない。生産者の高齢化で後継者不足。常設の販売場所で展示・加工品等品数を増やし、「ちいさな道の駅」をめざしたい。喫茶軽食も設置したい。 ⑥展示室までは客がこず、売り上げが伸びない。手芸教室・趣味工芸品教室・家庭菜園・植木相談受付窓口などを開きたい。 ⑦倒木も多く、道標前の草刈も必要。				観光案内所を運営し、細河地域の窓口となっている。また、朝市の開催による地場産業の活性化や散策路の整備やハイキングマップの作成による来訪者の増加が期待できる。	地域活性化課 地域活性化事業費
細河ふれあい農園事業	300	補助金 300	細河の遊休地を活用し市民に開放することにより、細河地域の活性化を図るとともに、農作物を通じた世代間の交流を促進し、また、市民が土に触れる喜びや癒しの場を提供する。	遊休田んぼを使って欲しい方、家庭菜園をしたい人を紹介してくれる人なし。		スタート時点はてまどっていたが、想像以上の問合せあり。収穫体験も好評であった。	植木産地細河だからこそボランティア精神で管理できる事業である。				地域活性化課 地域活性化事業費	
細河植木見本園改修事業	580	補助金 580	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、地場産業の植木の魅力を新たにPRする庭園を造る。	中途半端な改修ではなく「植木塾22」の協力で全面改修を行った。			植木見本園は流行を取り入れ、魅力的なものとなるよう改修していきたい。				地域活性化課 地域活性化事業費	
細河の自然を守る事業	560	補助金 560	ホタルの育成事業の実施、里山での竹や剪定枝の炭焼き活動及び剪定枝リサイクルの調査研究を行う。	昨年度はホタル発生時に集中豪雨でかなり流れたが、一部発生した。	今年はかなり多くのホタルが発生。	見学者が増えた。	ホタルを網で捕獲する人が増え、捕獲禁止看板も設置できず、見学者の良識に期待するのみ。 里山管理まで、協議会の費用では無理。別で検討してほしい。 しいたけ販栽培は将来性がある。里山管理のため伐採を行っていく。	各部会からの報告を受け、役員会で決めたものを総会で決定する。		環境をまもる課 環境衛生事業費		
余野川堤防八重桜植樹事業	100	補助金 100	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、余野川堤防に八重桜を植樹する。	まだまだ花見するほど太くはなっていない。	毎年予算計上して進める。	細河のボランティア精神で管理	将来、五月山と並ぶ花見スポットとなることを期待。				環境をまもる課 環境衛生事業費	
細河高齢者等配食サービス事業	2,306	補助金 2,306	配食を必要とする高齢者等に弁当宅配のサービスを引き続き実施する。同時に、見守り、訪問、声かけを行い、高齢者の社会参加を促す。 週2回（水・金）	人権センターは突然の湯茶サービス準備でも事前予約が必要であり、対応ができていなかった。また12時までに片付けも終了せねばならず料理の献立も制限されていた。	高齢者の認識不足もあり、11時過ぎから「弁当はまだか」という問合せが多数。人権センターから急遽引越となったが、幼稚園園舎を改築し、1回も中止なく乗り切れた。 人権センターから移動し、前日仕込みも可能となり、献立の種類も増えた。	改築の際、他部署会員に草刈・清掃・片付け・炊事道具の寄附等協力をいただいた。効率よく作業ができ、必要人員も1名削減、経費削減につながった。 福祉部のチームワークが向上、他の事業の応援参加も協力的であり、新年会などの親睦会参加者も増、地元住民の活性化に寄与している。福祉部の女子の力が活性化、新しい産業の発展に寄与する。 夏に83歳の老人男性に弁当を配達した際、衰弱しており病院搬送した。弁当申込み時の緊急連絡先の必要性を痛感した。幸いにも2週間の入院で元気に退院され、みどりの郷にあいさつに來られた。	9時から12時の3時間は忙しく、多目の人員配置が必要。経費がかさむ。 他のイベントの際は全面協力する。 週2回では頻度が少なく、他協議会へも参加を促したい。 未使用期間も長かった為、施設が老朽化している。細小廃校でスペースがあるなら、国道筋に親親し、軽食喫茶も開店し「小さな道の駅」を目指したい。 近隣の医療福祉の連絡網も周知しておきたい。			平成25年度は、5、330食の宅配給食を行った。高齢者の見守りを兼ねており、今後もさらに重要性が高くなる事業である。	高齢介護課 保健福祉事業費	
街路灯強化事業	40	電気使用料 40	細河地区の防犯灯が設置されていない地域に設置したLED灯の維持管理を行う。	池田市の街路灯は全体的に暗いと市民認識。		LED電球の経済性・必要性は理解できた。	防犯灯のLED電球への変更は遅い。街路灯の電気代はいつまでも地域分権ではなく、市の必要経費と考える。				道路課 土木事業費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

細河コミュニティ道路整備事業	500	補助金	500	細河の自然環境や地場産業等を活用し、地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、伏尾台コミュニティ推進協議会と協働でコミュニティ道路整備を行う。	本年は残り半分の舗装を完成予定であった。	福知山地区の豪雨で、1年遅れとなる。まず散策路のフェンス設置を前倒しして実施した。	完成図が目に見えるようになり、利用者が増加。	利用者が幅広い年齢層になり、夜間照明、出入り口への警備員の配置等も必要となる。	道路課 土木事業費
細河地域子ども会育成事業	300	補助金	300	校区全体で子ども会の育成を行い、協議会と子ども会が協働して、子どもとのふれあいの場を維持していく。		不死王閣のプールを使用し水連学校冬場はスケート教室を継続	プール教室・スケートは父兄の参加も多く、子ども会が充実	規模的には元細小児童のみしか継続できない。合同企画も検討。	教育センター 教育事業費
子どもの安全に対する事業	50	補助金	50	細河地域の防犯対策強化のため、老朽化した子ども110番の家の旗を取り替える。		細小前に交通安全の人形を設置。信号を守る標語を記載した。	R423で交通量が多く、信号厳守の重要性が認識されてきた。	小中一貫校となり、細小の児童はバス通学となる。集合バス乗降駅には雨天用に屋根付きの駅舎の建設が必要。	教育センター 教育事業費
市民レクリエーション大会事業	150	行事報償金	150	細河地域の活性化と、コミュニティ意識の高揚を図るため、地域団体が実施する住民運動会の運営事業を支援する。		例年通り盛大に実施	認識度が非常に高くなっている。	小中一貫校での住民体育祭はどのようにするのか。小学生は出場する機会が減り、父兄と一緒に見学しにくくなる。	生涯学習推進課 教育事業費
グラウンドゴルフ場運営・整備事業	218	補助金	218	地域の活性化とコミュニティ意識の高揚を図るために設置したグラウンドゴルフ場の運営を行う。	現在は地元和友会の老人クラブが年間定期的使用。	初心者用に道具一式を設置、保管場所は作業小屋を寄附いただいた。協力を得ている不死王閣の宿泊者にも利用いただけるようにした。		一般の方へのPRが必要。駐車場のない細小グラウンドでは不便。久安寺グラウンドゴルフ場を宣伝したい。	生涯学習推進課 教育事業費
計	9,162			事業提案限度額9,162千円					

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

秦野地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。	「秦野まちづくりだより」を各戸配布して協議会活動のPRに努めてきた。地域分権をより定着させるために、活動・関心をさらに高める必要があった							地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙等発行事業	320	補助金 320	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	「秦野まちづくりだより」を各戸配布して、協議会活動のPRに努めてきた。地域分権をより定着させるために、活動・関心をさらに高める必要があった。	全体的に、地域の催しを中心に、写真を多くし行事には、より広く分かりやすく、記事内容の充実にも努めた	写真、記事などの紹介で、より多くの人々の目を引くようになった。地域のイベントなど多数取材し、写真入りでのコミュニティ作り、また、各団体の取材等載せ、地域に意識して頂いた。	まだまだ、活動PRが足らなし地域住民とのコミュニケーションが必要である。協議会の広報活動もより一層充実させ、活用されるように努めていく。			地域の催し等の写真を多くとり、より伝わり易い紙面になっている。今後も創意工夫のある紙面づくりに期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	1,961	修繕料 1,931 補助金 30	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を地域住民に知らせるため、掲示板を設置する。また、地域団体と共に使用出来るようにする。	地域全体の掲示板が老朽化してきた。地域・協議会の活動内容を知らせるのに、数多くの掲示板が必要になっていった。	新設する。地域によって場所的な問題が出て来ている。町内会・自治会・社協などと共に、協力して使用している。使用し易くなって、大変喜ばれている。	地域と一緒にあって、使用しているのが少しだけ良くなって来ている。来年度の申し込みも多くなった。老朽化によって、事故や怪我がないように改善が出来たと思う。	地域にとっては、古くなって来ている掲示板の支援も必要であると思う。コミュニケーションを図る事にも、一役かっている。			掲示板の更新により地域の各団体とのつながりの強化にも寄与している。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板改修事業	486	補助金 486	地域に設置している既存の掲示板を改修し、美化と利便性の向上を図る。	各地区でのコミュニケーションを図る掲示板が、老朽化により使用が困難になり改修が必要となった。	お知らせ、案内等の掲示物が安心して、掲示出来る。	お知らせ、案内等の掲示物が安心して、掲示出来る。	各地区でのコミュニケーションを図る掲示板が、老朽化により使用が困難になり改修が必要となったは今後も支援していく。			掲示板の改修により、掲示内容の注目度向上に寄与している。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域ギャラリー維持管理事業	250	電気使用料 10 補助金 240	コミュニティ事業の情報発信、地域住民の作品を掲載、地域行事等の広報を行うためギャラリー-掲示板を活用する。日常の維持管理経費を計上する。	地域全体としての共通の作品などの発表や情報の掲示場所が、不足していた。	2週間に1回の割合で、作品の入れ替えの為、多くの作品が必要となる。地域の催しも、写真などで紹介した。子供会等の、掲示もおおくなっている。話の問い合わせも、多くなった。	毎年、新しい作品も増える。通行人の方も、見に来られる頻度が増えている。	2週間に1回の割合で、作品の入れ替えをしているが、作品集めは、まだまだ必要。今後も根気欲、広報活動を続けていきたい。			掲示内容の入替え頻度も高く、非常によく活用いただいている。息の長い活動を期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
防犯カメラ設置事業	1,822	修繕料 1,806 電気使用料 16	安全で安心な暮らしの実現に向け、防犯カメラを設置する。	これまでカメラが無く、犯罪や交通事故の検証、及び犯罪抑止のためにも設置が望まれていた。	秦野校区の中央線の東西両端に設置	犯罪や交通事故の検証、及び犯罪抑止に寄与している。	他にも設置必要箇所の検討が必要			地域の危険箇所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する	危機管理課 安全防災事業費
地域イベント備品整備事業	388	器具費 388	地域イベントに必要な備品を整備し、地域内諸団体に貸し出しを行う。	22年度から備品貸し出しをはじめ、地域行事に貢献してきている。	軽量パイプ椅子・台車を購入	備品の活用が活発し、地域イベントに寄与した	不足しているものにつき、地域と検討が必要			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域活性推進事業	460	補助金 460	地域の交流と地域活性化を図るためフリーマーケットを開催し、会場設営等の備品等を購入行う。	22・23・24年度フリーマーケットを開催し、多くの参加をいただき、備品も購入し、貸出しした。前年度までは、渋谷公園で開催した。	参加者(個人・団体とも)は、昨年より多くなり、場所も秦野小学校のグラウンドになり、まだ参加人数も増えて大丈夫。11月3日(祝)開催は、定着してきた。	申し込み団体・個人とも増えた。非常に好評であった。地域全体の交流の場が出来て、みんな大変喜んでいる。	備品の貸し出し用に、数多く揃える。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
校区盆踊り大会事業	150	補助金 150	スポーツ振興会と子供会等の共同開催を支援する。コミュニティ意識の高揚を図る。	スポーツ振興会・子供会等で、開催している。	共同開催を支援し、参加数が増えてよかった。	盆踊り備品を揃え、スポーツ振興会・子供会への支援が充実したと思われる。	まだまだ、安全性を考えれば、古くなった危険性のあるものを、備品交換していく必要がある。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
地域活動支援事業	750	補助金 450 補助金 300	地域活動を支援していくため、盆踊り用備品地域運動会などに支援していく。	運動会の入退場門の老朽化。	きれいになり、安心して還搬できる。	運動会に参加、応援に来た父兄らも気持ちよく、安心して、競技 応援できる。	丁寧に扱って貰いたい。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費 管理部総務課 教育事業費
秦野地域花いっぱい運動支援事業	340	補助金 340	地域と学校と一緒に花を育て緑化を進め笑顔のあふれる地域にしていく。	今回初めての試みの為、試行錯誤しながら、進めて行く。	渋谷中学校の協力で始める。生徒たちの協力もあり、花を育てていく。地域の各団体に育てた花を配る。	自然とふれ合いながら、心豊かに。	今回初めての試みの為、試行錯誤しながら、進めて行く。			今後も地域と学校が協働で自然とふれあいの場を広げていくことを期待。	環境をまもる課 環境衛生事業費
AED管理事業	263	消耗品費 263	地域内の各会館に設置し、突然の疾病や事故に対処する。住民には救命講習の受講を呼びかけ万が一に備える。	パッド・バッテリーの老朽	老朽化した部品の交換を行った。	共同利用施設に配置し、良い状態で管理することで、多くの住民の安心につながった。	消耗品の定期交換が必要。			南畑公園のリニューアルにより公園の魅力が高まった。また備品貸し出しやフリーマーケット開催など、地域のイベント等の活性化に寄与している。今後各種団体との連携を深め活動の活性化に期待する。	健康増進課 保健福祉事業費
自然学習講習会・昆虫育成事業	100	補助金 100	地域特有の自然と触れあい、自然の学習を学び、幼虫育成により親子のふれあいの場を提供する。	カブト虫・幼虫育成	カブト虫里親 幼虫を養育場に返還。	生き物に関心を持ち、命の大切さを勉強した。	カブト虫の継続は、大切であるが配布だけでは考える課題はある。「自然学習」としての、観察(山・川・池)が必要になって来ると思う。			毎年実施している恒例行事であるが、カブトムシを通じ、子ども達の自然学習の良い機会となっている。	みずとみどりの課 土木事業費
南畑公園施設改修事業	1,000	修繕料 1,000	南畑公園を改修することにより、利用者にとって利用しやすい公園にする。	遊具の老朽	遊具のリニューアルを行った。	遊具のリニューアルにより、子どもを中心とした住民に喜ばれている。	特になし。			遊具のリニューアルにより、公園利用の子ども達に喜ばれている。	みずとみどりの課 土木事業費
秦野小学校金管クラブ支援事業	639	器具費 639	秦野小学校の金管クラブの楽器を購入し、活動を支援する。	楽器が老朽し使用に支障がある。	トロンボーン・バリトン・ホルネットの提供を行った。	小学校の金管クラブ活動の活性とモチベーションアップに寄与。	継続した活動が必要。			使用可能な楽器の一層の充実により、生徒の演奏技術の向上に繋がった。	管理部総務課 教育事業費

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

秦野小学校倉庫改修事業	230	補助金	230	地域活動を行うため、秦野小学校倉庫を改修し、利便性を向上させる。	倉庫内の照明は無し。夜の片付けは、危険が伴う。	暗くなってからの、片付けも安心して出来る。物の確認がし易い。	いつ怪我をしてもおかしくない状態が、安心して出来るようになった。	危険が伴う所は、怪我や事故の前に手を加えるようにする。	倉庫利用者の負傷の可能性を低減させ、より安全な教育環境を整備できた。	管理部総務課 教育事業費
キッズランド支援事業	50	補助金	50	秦野小学校で開設された「秦っ子キッズランド」で使用する備品及び教材を購入し、充実したキッズランド活動を支援する。	遊び道具が古くなっても、買え替えが出来ない。	安心して、楽しく伸び伸び遊んでいる。	怪我も無く、保管場所も確保出来た。	秦小「秦っ子キッズランド」の支援継続。参加人数の増加も考えていきたい。	「秦っ子キッズランド」で使用する遊び道具等を補充及び拡充したことにより、幅広い活動が可能となり、活動の充実、安全な運営につながっている。有効な事業として評価できる。	教育センター 教育事業費
地域内子ども会等活動支援事業	400	補助金	400	校区内で子ども会の育成を行い、協議会と子ども会が協働して取組を行う。	各地域の子ども会の交流が少ない。	・当日は、雨に見まわれたが室内のイベントもあったので、子供たちもたいへん喜んでいて、声が多かった。	子ども達の色々な自然とのふれ合い。子供同士の交流を深める。	今後も、続けていきたい。今回参加出来なかった子ども会の参加出来るようにしたい。	普段のこども会活動では経験できない規模のイベントにより、校区のこども会の交流が深まり、子どもたちにとって有意義な体験活動となった。有効な事業として評価できる。	教育センター 教育事業費
市民レクリエーション大会事業	280	行事報償金	280	地域のスポーツ振興会と子供会等の地域団体が開催する事業を支援する。					秦野スポーツ振興会が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費
計	9,989			事業提案限度額	9,989千円					

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

北豊島地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
	交付金	補助金									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	100									地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙発行事業	660	660	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	地域コミュニティ推進協議会の活動状況又は内容について2か月に一度コミュニティ紙を配布し、理解と協力が進んでおり、以前よりは理解されてきている。	25年度は6回発行、北小校区約7,100世帯に配布。 配布回数を重ねるごとに認知度は高くなって来ていると思います。	協議会がどのような事業を行っているのか、地域分権に対しての理解認知度が上がって来ていると思います。	紙面制約はありますが出来るだけ読んでいただけるように記事内容に活動状況防災・防犯活動状況地域の情報等の充実とカラー化等で読んでいただけるように改善を加えて行きたい。			地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
地域掲示板設置事業	300	300	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を地域住民に知らせるため、掲示板を設置する。また、地域団体と共に使用出来るようにする。	豊島自治会の掲示板が老朽	池田駅前公園にある掲示板を豊島自治会倉庫そばに移設置。	既存掲示板を活用することで、費用面でも節約ができた。	特になし。			地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
きたてしまプラザ活用事業	3,938	2,888	地域住民相互の交流の拠点として住民対象の文化教養教室、子育て支援活動を行う。また、将来の屋上に太陽光発電システム導入を計画のため、躯体の耐震診断を実施する。	コミュニティ推進協議会の活動拠点施設とし、各室で文化教養講座等を実施週6日開館しております。 空調設備も新設し、地域住民には喜んで利用いただいております。	貸室の希望も多く、利用率が高くなっており、利用申込参加者年間14,065名ありました。 (別紙参照) 耐震調査も完了し、十分な耐震躯体とのお墨付きもいただきました。	週0日開館し、利用者年間14,065名地域住民相互の交流の拠点文化教養教室地域の子育て広場(未就園児向けロケットキッズ)を委託支援地域の老人会子供会地域福祉等団体の会議開催利用。 協議会主催の教室(うたうプラザ太極拳木版画教室囲碁クラブ等)児童向け図書室開設等により地域の住民の健康福祉向上に寄与している。	全館で残るのは機械室の改修工事が必要。 プラザは地震に強い躯体と判定いただいたので屋上に太陽光発電設備事業を本格的に進めて行きたい。 運営委員会を中心に地域住民が参加楽しめる、イベント教室絵画展音楽会等活気あるプラザを企画運営して行きたい。		総務課 コミュニティ推進事業費		
きたてしまプラザまつり事業	30	30	協議会の活動状況を年に1回、地域住民に広くPRすることを目的として祭典を開催する。	協議会の活動状況(各提案事業各文化活動作品発表の場)を年に一度11月にプラザまつりを開催し、協議会活動内容のPRを行っている。協議会発足以来、足かけ8年になるが協議会としてPR不足を感じる。	地域の方にご参加いただき、各事業文化教室の内容を披露し、PRする一方で子供達が販売価格を決め、不要になった手持ちのおもちゃなど販売、ガレージセールを実施する。 屋敷の接待(カレー有料)等実施し、協議会活動状況のPRが出来た。	年に一回の協議会としての祭典を開くことにより活動内容の理解を深めてもらっている。	各文化教室の充実を図って行きたい。			観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
地域行事活動促進事業	275	207	校区盆踊り大会と地域内行事の支援及び必要な備品等を購入する。	地域の住民どうし多くのコミュニケーションが図れる場として盆踊り秋祭りイベントがあり、各地とも少ない予算で運営されております。 開催に必要な備品が揃えることが出来なかった。	事業執行によって少ないながら地域行事イベント備品を補助金で揃える事が出来た。	各行事とも多くの方々の参加によりコミュニケーションが図れた。	多くの方の参加があったとは言え、地域から見た場合まだ参加者が少ないので地域の自治会と図り、参加者増員方法を考えていく。			観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
サイクル&エコカーニバル運営事業	30	30	サイクル&エコカーニバルに必要な備品を購入し、行事の活性化を図る。	毎年市主催のサイクル&エコカーニバルが宣真高校の校庭で開催され、エコについての啓蒙活動が実施される中、協議会PRとして当初は有償で飲料サービスを行っていましたが他の参加企業等すべて無償提供を行っております。	当協議会発行のコミュニティ紙を配布し、飲料(コーヒー)接待ですが補助金で無償化実施できた。	コミュニティ紙配布により協議会について一定のPRが出来た。	すべての参加企業も低額の有料サービスにして行くべきではないか。			環境にやさしい課 地域活性化事業費	
環境美化ウォーキング事業	130	130	継続的に地域の清掃活動を行うために必要な備品を購入し、子どもたちを含む地域住民が地域美化運動を展開する。	地域でゴミが目につくとの情報もあり、待機美化啓蒙運動として協議会活動それを計画した。	6月23日に豊島北1・2丁目地区地域で清掃活動実施、44名程度の参加者あり、(秋実施予定が降雨の為中止)地域美化運動の啓蒙に繋がった。年2回実施予定が降雨の為1回となくなった。	美化運動実施中ののぼり立て、ベストを着用しゴミ袋約20袋を回収 住民に対して一定の啓蒙が出来た。	継続的に美化運動を実施することによって地域で美化運動定着化を図って行きたい。			環境にやさしい課 環境衛生事業費	
環境にやさしいエコクッキング講習会開催事業	60	60	楽しい食事ができ環境に配慮した家計に優しいエコクッキングの講習会を開催する。	地域の主婦を中心に環境改善を考え、飽食の時代の中で毎日の食事作りから環境にも家計にもやさしく、楽しい食事が出来る、クッキング講習会開催の要望。	NP0『プロサポート』の協力を得て、40数名の参加もあり、簡単な材料でエコ(多くの油等を使用しない)で美味しい料理が出来きることを勉強できた。	夏バテ知らずレシピ(モロヘイヤとオクラのぶっかけそうめん)(モロヘイヤとトマトのスタミナ炒め)等の料理講習。 参加者からも好評で自宅でも取り入れたいとの意見も出た。	平成26年度も継続して開催したい。			環境にやさしい課 環境衛生事業費	
子育て支援事業	300	300	毎週3回5時間 あそびの広場を開催し、紙芝居や絵本、TVシアター等親子のふれあい遊びと子育ての悩み等を関係者ととに語り合う。	継続事業ですが当地域には以前から未就学児に対して子育て施設がなく、公的支援のない中、子育て中の母親より子育ての仲間グループ設立の要請でロケットキッズが設立され、当協議会が事業として支援をする。	木田弘子氏中心にプラザ内の一室(ふれあいルーム)を開放し、テレビ等によるシアター劇場 童話の読み聞かせや市より支給のおもちゃ等を利用し、ロケットキッズが運営され、平成25年度未就園児とその保護者3,503名の参加があり、子育ての悩みなど話し合え、好評を得ている。本年度より指導員有償ボランティア制度を導入、自主運営費にて処理。	母親たちにも好評で幼児を明るく元気に育て、自分自身の子育て悩みなど共通した話題が出来、参加者も年々増えつつある状況で 事業効果は上がっていると思います。 個人相談室や3歳児中心の『びよびよクラブ』等開設	木田氏を中心に事業活動を展開しているが内容から見て無償活動に限界があるように思います。 人件費は来年度有償ボランティアを提案し、事業提案を行いたい。	各都会でまとめられていたものを役員会で決定する。	子育て支援課 保健福祉事業費		
絵本貸出読み聞かせ活動支援事業	110	110	子ども達により良い絵本をモチーフに荘園会館で保護者も関わり活動している「文庫読み聞かせを行う広場」を支援する。	『絵本貸出読み聞かせを行う広場』として荘園会館で長年開催されている『ひつじ文庫』の支援。 貸出読み聞かせ絵本はじめ紙芝居用ステージ等が傷んでいるが資金不足等で維持運営管理が苦しくなっている現状。	かんたんステージセットパネルシアター紙芝居舞台エプロンシアターの新調貸出読み聞かせ用新刊絵本50冊を購入することができ、運営者はじめ利用者に大変喜ばれた。	7月23日荘園会館にて『ひつじ文庫なつまつり』を実施。 紙芝居の実演新刊絵本の貸出読み聞かせが行われた。 大勢の親子連れが楽しい1日を過ごすことが出来た。	今後も新しい企画で支援が必要な時は支援をして行きたい。			子育て支援課 保健福祉事業費	
AED管理事業	9	9	使用期限が切れるパッドの交換を行う。	パッドの老朽	老朽化した部品の交換を行った。	共同利用施設に配置し、良い状態で管理することで、多くの住民の安心につながった。	日々の点検が必要。 消耗品の定期交換が必要。			健康増進課 保健福祉事業費	
豊島野公園整備事業	1,450	1,450	太陽光発電に取組む国も本格的に取り組みつつある中、豊島野公園に太陽光利用の街路灯をを設置する。	太陽光の設備も地域に少なく、環境意識向上のためにも設置が望まれていた。	豊島野公園にソーラーLED照明を設置	公園の防犯に役立つだけでなく、停電時でも照明を確保することができる。また、環境意識の向上にも繋がった。	啓蒙のため増設の検討が必要			みずとみどりの課 土木事業費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

豊島北2丁目公園 花いっぱい整備事業	80	補助金	80	地域の子も達が安全に遊べる場の提供として、花壇を作り花を育て、地域住民の憩いの場とする。	継続事業で整備も完了し、明るい開放された公園、地域住民憩いの場子ども達の遊びの場として多くの人々に利用されております。	花壇土壌の改良作業、植栽作業年2回園芸高校先生、生徒さん達の指導による地域住民の花壇花植替え作業等維持管理。	花が咲き乱れ、住民の憩いの場高齢者の散歩途中での休憩所子供たちには明るく安全で楽しい公園として評価されている。	子供達が利用する遊具に不備はないか日頃からの点検が必要。園芸高校の生徒さん達と地域の住民協働で今後も年に2.3回花の入れ替え作業を行っていききたい。夏季の水やり等の実施花壇の整備維持管理。		豊島北2丁目公園内の花壇に花を咲かせ、利用者等の楽しみとなっている。	みずとみどりの課 土木事業費	
公園バスケットコート環境整備事業	1,794	修繕料 補助金	1,500 294	青少年の健全育成を図る事業。定期的清掃作業用具の購入と時間外侵入者防止用門扉の開閉管理等を引き続き行う。	高架下の公園を整備、3on3バスケットコートを設置し、日々青少年がスポーツを通じ交友関係を構築している。一方コートの傷み、防音、シートの劣化、他に高齢者対象の健康維持器具、幼児児童向けの遊具設置があればもっと活気のある公園維持が出来る。時間外侵入者騒音の問題等あったが開場時間管理防音シート設置等に対応している。	防音壁の恒久化、高齢者向け、幼児、児童向け遊具ランニング用トラツ等新関西空港(株)又は市の支援により完成。休日等には青少年の歓声が響き、親子連れ高齢者の利用度盛況である。開場時間管理継続実施。	高架下公園で条件は良くないが人気のある利用度の高い公園で青少年のコミュニケーションが図れる場として役に立っている。	高架下でもあるが今後青少年親子ずれ、高齢者等が憩う明るい公園に環境整備をしていきたい。		豊島東公園内に水道を設置することで、公園利用者の利便性が向上している。また、バスケットコートを含めた公園の一部管理を地域で実施することで、良好な状態が保たれている。	みずとみどりの課 土木事業費	
街路灯強化事業	1,678	電気使用料 請負費	43 1,635	安全・安心なまちづくりの一環として防犯対策強化を目的に街路灯を整備する。						街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費	
市民レクリエーション大会事業	250	行事報償金	250	住民間のコミュニケーションを図る、校区レクリエーション大会に必要な備品の購入を行う。	市内全域で住民運動会が実施されていたが北小校区では地域行事との関係で子供会が中心とした運動会が実施されていた。(一方少子化が進み子供会中心の運動会が成り立たなくなる現状)その代替えとして軽スポーツ大会が実施されていた。	地域行事との問題もあり、9月22日に第1回住民運動会を北小校庭で実施、約300名の参加があり、大いに盛り上がりました。	住民同士のコミュニケーションに大いに役立った。	市全体で住民運動会を実施されるのは意味のあることですが、地域特有の行事もあり、今後については市と相談しながら今後も継続実施をしていきたい。		スポーツ推進委員が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費	
計	11,194			事業提案限度額	12,142千円	次年度繰越金額	948千円					

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

これは地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
	交付金	補助金									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙等発行事業	300	300	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する。	協議会の存在や活動内容について、地域全体に広報することで理解をしてもらっている。	校区に居住する住民に、協議会の活動報告やアンケート調査の実施により、協議会の活動について理解を得られた、また、地域住民の考え方などを知ることができた。	校区に居住する住民に、協議会の活動内容を周知することにより、理解、協力と参加を促進することができた。	今後も益々内容の充実を図り、毎年実施している事業のお知らせや協議会への参加を促進していきたい。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業	709	709	呉服会館を地域コミュニティの拠点施設として管理運営を図る。	共同利用施設呉服会館の一室を地域コミュニティ推進協議会の活動拠点として、備品等の整備を進めている。	共同利用施設呉服会館の小会議室を拠点とした地域活動の活性化を図られた。	協議会における役員会や各部会の活動が活発に展開され、地域分権推進に大いに役立っている。	小会議室の再整備と備品購入で協議会活動の更なる活性化を図る。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館備品整備事業	662	586 76	共同利用施設施設（呉服・桃園、宇保会館）の備品の整備を行い、利便性を向上させる。	地域内の共同利用施設宇保会館と桃園会館の備品が老朽化しているため、利用者から買い換えの要望があったので購入した。	宇保会館の電子レンジと桃園会館のガスコンロを新規に買い換えることにより、利用者の活用が増大した。	両会館の備品の老朽化が激しかったため、使用に支障を来す上、安全性においても懸念されていたが、新規購入により安全に利用できるので歓迎された。	他の共同利用施設の備品も買い換えを検討していきたい。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域掲示板設置事業	300	300	老朽化した地域自治会の掲示板を取り替え、地域団体と共に使用出来るようにする。	地域内（宇保八王寺自治会）にある掲示板の老朽化が激しいため、広報活動に支障があった。	老朽化した掲示板に変わり、新たに設置した掲示板は、ワイドで大きなポスターも充分張ることができ、住民からも賛辞の声があった。	ワイドで見やすい掲示板に付け替えたため、地域の広報活動が活発化した。	地域のお知らせや地域コミュニティ推進協議会の活動も、この掲示板を通じて地域住民に広く知らせることができる。今後も広報活動の充実を図る。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
合同防災訓練事業	210	210	不慮の災害時、地域住民と協力し難局を乗り越えられるよう、住民相互による協力関係を構築するため、呉服小学校区内の合同防災訓練を実施する。	校区内での防災訓練は、昨年まで5自治会で実施していたが、実際の災害が発生した場合を想定した上で、今年度より7自治会合同で実施した。	呉服小学校の校庭及び体育館を活用して、合同防災訓練を実施することで、地域住民同士が一体感を得ることができた。	不慮の災害時、自治防災会と地域住民が協力して難局を乗り越える事ができるよう、相互信頼の構築ができた。	防災訓練の内容をより充実させることにより、地域住民との信頼関係をさらに向上させること課題と思える。				危機管理課 安全防災事業費
青パト隊パトロール活動事業	221	63 151 7	青パト隊による地域巡回活動を行い、各種犯罪の抑止効果を図る。安全な地域環境をつくる。	青パトでの呉服小学校区内巡回パトロール実施により、各種犯罪の抑止効果を図る。	青パト専用駐車場を呉服会館敷地内に設置したことで、隊員の利便性の向上、巡回回数が増や巡回範囲の拡充を図ることができた。	呉服小学校区内の細い道まで巡回範囲を広げることにより、各種犯罪の抑止効果に車両を活用できた。	より一層の巡回活動の充実を図る。				危機管理課 安全防災事業費
これは地域フェスタ・これは祭り開催実施事業	1,200	1,200	これはフェスタ、これは祭りを各種団体と協働で開催する。地域の人と人との繋がりを深め地域コミュニティの活性化を図る。	これは地域内のコミュニケーションの充実を図ることを目的に合同で祭りを開催する。	地域内の各種団体の協力を得て、ステージをはじめ模擬店等で盛り上げていただき、地域内のコミュニケーションの充実を図ることができた。	呉服小学校PTAと地区福祉会及び地域コミュニティが協力し祭りを盛り上げることができ、地域の方々とのコミュニケーションを図ることができたことは大きな収穫である。	地域内のコミュニケーションを今後も積極的に図り、地域のつながりを広げていきたい。				観光・ふれあい課 地域活性化事業費
呉服小学校花いっぱい運動支援	100	100	地域と学校と一緒に実施する「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動の支援を行う。	昨年度より引き続き実施している事業で、地域と学校と一緒に花を育てる活動を支援する、。	「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」活動を支援する。	呉服小学校と地域と一緒に花を育てるプロジェクトに参加し、子ども達が花を育てる喜びを感じ、感性豊かな心を育む事ができた。	感性豊かな子ども達を育てていく事業にも、今後も積極的に対応していきたい。				環境をまもる課 環境衛生事業費
花壇整備事業	194	194	憩いの場としての花壇を囲み花を育てる。地域住民のコミュニティの増進を図る。	満方美町と宇保町との境（水路敷）にある市民憩いの花壇を整備する。	水路敷にあるため、市民が花壇を整備する際の危険を防止する為、柵を敷設する。	安全に花壇の話し話ができるようになり、花を愛でる愛好家も集い、地域のコミュニケーションも図れるようになった。	出入口の整備とともに見栄えのするカラー塗装をすることで、もっと地域の人達が集いあえる環境にしていきたい。				みずとみどりの課 土木事業費
公園整備事業	500	500	桃園公園の設備を充実させ、地域住民の「憩いの場」を活性化させる。	桃園公園の設備を充実させ、地域住民の憩いの場を活性化させる。	公園内の立ち木を整備し広々とした空間と各種遊具の設置により、市民の憩いの場を想像できた。	市民の利用がこれまでと大きく変わり、毎日多数の親子連れが訪れ、まさに市民の憩いの場として賑わっている。	遊具の補充も計画的に検討しながら、安全な遊び場をめざす。				みずとみどりの課 土木事業費
道路安全対策事業	414	414	児童が登下校の際に利用する通学路にグリーンベルトを設置し、児童の安全を確保する。	児童の登下校時に利用する通学路に、交通事情の激しい危険な箇所があり、交通事故が発生しないかと気になっていた。	交通事情の激しい危険な道路にグリーンベルトを敷設したことにより、交通事故から子ども達を守る事ができる。	グリーンベルトの設置により、登下校する子ども達を安全に誘導できる事により、交通事故を回避できる。	地域内には、まだまだ危ない箇所があるので、順次設置に向けて対応したい。				道路課 土木事業費
呉小吹奏楽クラブ支援事業	748	748	呉小吹奏楽クラブの楽器購入を支援する。団体の活動支援を行う。	呉服小学校の吹奏楽クラブの楽器が老朽化していて、正確な音程を出せない状態である。	老朽化した楽器を新規購入することで、古い楽器を新しく入ってくる児童の練習用に活用している。	新しい楽器演奏で技術の向上に役立つと共に、練習用の楽器ができたことで更なるレベルアップが図れる。	年々老朽化した楽器を計画的に買い換えることがこれからも必要と思われる。				管理部総務課 教育事業費
MTPフェスティバル支援事業	200	200	池田地域コミュニティ推進協議会と協働で、MTPフェスティバルの支援を行う。	池田地域コミュニティ推進協議会と共に、MTPフェスティバルの支援を行う。	小学校区から中学校区へと範囲が広がり、また、他の地域コミュニティとの交流も活発にできた。	MTPフェスティバルに当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れた。	他地域の行事への報奨金も検討しながら、フェスティバルが活発化するよう努める。				教育政策課 教育事業費

各事業責任者の意見を聴き、協議会で決定する。

青パト事業は地域の皆様の協力のもと継続的に活動をしていただいている。これは祭りはPTAとの連携を深めるきっかけとなっており、今後の参加者の増加にも期待する。また、拠点の活用を高めていただき活動の広がりに期待する。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

見守りパトロール隊強化事業	90	消耗品費 90	見守りパトロール隊に統一ベストを着用することにより、登下校時の児童の安全を確保する。	見守り隊が統一ベストを着用して児童の見守り活動が続いているが、ベストの支給が不足している。	全員に統一ベストを支給でき、子ども達も安心して登下校ができるようになった。	見守り隊の連携意識が高まり、登下校時の児童の安全が確保された。	見守り隊のメンバーチェンジが進めば、再度考慮する余地も必要かと考察する。	見守り隊の方々が統一ベストを着用することで、子どもたちは安全に登下校することができ、保護者や地域住民も安心して子どもたちを送り出すことができている。また、見守り隊の連帯感が高まり、モチベーションの高揚につながっている。有効な事業として評価できる。	教育センター 教育事業費
グランドゴルフ実施事業	70	補助金 70	高齢者と若者が一緒にグラウンドゴルフを行い、スポーツを通じて地域コミュニケーションを図る。	グランドゴルフの普及とスポーツを通じての地域のコミュニケーションを図る。	年3回のグランドゴルフ大会を開催することにより、地域住民同士のコミュニケーションが図られた。	参加者は会を重ねるごとに増加し、和気藹々の雰囲気は微笑ましく、グランドゴルフを通じてのコミュニケーション作りは効果あり。	若者の参加が得られなかったことなど、今後の広報活動や運営の方向性に検討の余地あり。	グラウンドゴルフ大会を通じて、地域での交流が高まった。	生涯学習推進課 教育事業費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金 200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。コミュニティ意識の向上に努める。	地域のスポーツ振興会が開催している市民レクリエーション大会を支援する。	当協議会が行事報償金として支出することで、地域住民のコミュニティ意識の向上を図る。	市民レクリエーション大会に当協議会が参画することでコミュニケーションの向上が図れる。	他地域の行事報償報奨金とも検討し、校区の市民レクリエーション大会が活性化するよう努める。	スポーツ推進委員が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費
計	6,218		事業提案限度額 9,074千円 次年度繰越金額 2,856千円						

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

石橋地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)	説明		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課科目(目)	
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金	100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費	
地域コミュニティ紙等発行事業	500	補助金	500	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する。	年間のコミュニティ協議会の各会が行う事業内容を地域住民にPRし、コミュニティの存在を意識づけるため広報誌を発行する。	25年度3回発行を実施した。事業の実施とタイミングを近くすることで、読者に紙面の内容等に興味を持ってもらえた。	「地域の安全性」についてはタイムリーなニュースを取り上げることで、地域の現状を認識するきっかけになった。(毎回直接池田警察の地域情報を取材させてもらいました。)	紙面がマンネリ化してきている。他の地域の情報を知ることも必要ではないか。年間1~2回ぐらい全地域の事業内容が掲載されて見られる方法はないでしょうか。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
地域内会館備品整備事業	1,436	修繕料 庁用器具費 補助金	776 310 350	井口堂北会館に備品を整備し、備品を配備し、利便性の向上及び環境の整備を図る。	石橋地域内にある各種ボランティア団体の会議毎資料作成者が会議等に間に合うよう忙しい時間をみはからってコンビニエンスストアや学校のコピーを利用して配布資料を作ったいた。	会議用資料は、会議前に全員で速やかに印刷することが出来会議決定、変更事項もその場で配布することが可能になり再会議や後日配布の手間が省かれる様になった。	各団体の印刷費負担が軽減され余剰した経費をその他の活動に生かせるようになった。資料作成者の時間繰りも容易になり合理的になった。	当機の設置場所が2階廊下に置いている為、会議している部屋に印刷する音が届き再三クレームを受けることがあり会館の空き部屋を整備して格納したい。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
地域防災体制強化等事業	1,173	補助金	1,173	自主防災組織の体制強化を図るため、防災倉庫に防災備品を整備する。また、防災訓練を関係各所の協力のもと開催する。	防災備品については今年度は、飲料水、長期保存可能食品、紙オムツ、トイレットペーパー、ティッシュ、サランラップ、歯ブラシ等生活関連を中心に4か所の防災倉庫に取り揃えた。昨年度までは、割とハード面を取り揃えてきた。又第4回目を迎える防災訓練については、様々な訓練がややマンネリ化の傾向にあるので今年は避難誘導、避難所開設、避難者数の把握、パーティション、7つの班分けによる班ごとのディスカッション、クロスロードゲーム、AED操作訓練を主に取り組んでいきたい。	防災備品は生活関連備品を中心に日常生活に不足すれば混乱をきたす備品に目を向けて取り揃えてみた。又、防災訓練に関しては上記の訓練については、あらかじめタイムスケジュールは作成したが大災害時の混乱を想定してあまり型にはめた訓練を実施しない方向であった。班分けによるディスカッション等で来年度以降の課題が見つかり反省資料を作成して次回以降に活かしていきたい。	防災備品については有事に一応対応できる備品は取り揃えていっているが、さて大災害時に適切に混乱なく対応可能かという地域内を網羅できる完璧な確認は無いが、少しでも地域に貢献できれば幸いである。防災訓練については、4回目ということもあり徐々に浸透していっていると思われる。	備品に関しては、地域住民の皆さんの要望を吸い上げて取り揃えるようにしていきたい。訓練に関しては、公助を得られるまで持ちこたえられる住民の自助、共助意識の高揚と思いやりの気持ち、そして防災リーダーの統率力とにちようせいかつからのチームワークづくりが必要か。				地域内の防災備品を適切に配備・管理することができ、万が一の際に適切な利用されることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費
防犯カメラ設置事業	1,020	電気使用料 修繕料	6 1,014	安全で安心な暮らしの実現に向け、さらなる街頭犯罪件数の減少を図るため、防犯カメラを設置する。	井口堂3-9-2と石橋2-6-11に架かる車瀬橋(通称赤い橋)は石橋小学校の登下校道であり地元住民の通勤、日常生活道路である。しかし、夜間は非常に暗く、又道幅も狭く痴漢や犯罪も危惧されている。悪質な犯罪や事件、事故の啓発と防止の為に防犯カメラを設置する。	井口堂3-9-2と石橋2-6-11の2か所に防犯カメラを設置した。照度やプライバシーにも充分配慮して設置した。	幸いにも防犯カメラを立会で再録するような事件、事故は発生していない。	今後共、事件、事故の啓発活動として、主要な箇所に設置を考えている。				危機管理課 安全防災事業費	
地域行事等活動促進事業	300	補助金	300	納涼大会等を実施する地域団体に電気設備設置及び活動運営を支援して、コミュニティ活動の充実を図る。	昨今の経済状況のきびしい中、納涼大会を存続する為に必要な経費への地域のご支援に協力に限界を感じていた。	開催に際し、補助金の充当で従来同様納涼大会が実施された。	設営、出店等、全て地域の住民・学校の協力で成り立っている。夏の大きな行事に、多くの参加を他の地域の方々も含め、得て盛大に楽しめた。	経済時勢のきびしい中地域住民の手で作られている納涼大会の趣旨にご理解いただき、ご協力をお願いします。				観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
地域イベント備品等整備事業	247	補助金	247	校区住民が参加する地域イベント等で使用する備品を購入する。	備品の消耗、破損、老朽化。	必要と思われる部分は更改された。	これらの更改によりコミュニティ活動の充実が図れた。	今後も必要に応じて他の備品の整備及び老朽化等の更改を行いたい。				観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
地域美化整備事業	118	補助金	118	美しい街を目指すため、啓発用ポスターやチラシ等を作成し、地域住民のモラルの向上を図る。	街を汚すものとしてベットの糞が目立たなくなっていたが、タバコのポイ捨てと住宅周辺(道路脇側溝)の雑草が目につき、この両者が街の美化を損なっている。ミニ公園の遊具の塗装がはげ、見苦しくなっている。	居宅周辺の雑草(除去)については、空地・空家など一部の居宅を除き、地域住民の方々が7月から8月にかけて草刈りを実施された結果スッキリした。タバコのポイ捨てについては、心ある人にはアピール出来たと考えるが、一部のポイ捨て常習者に行動を改めさせるまでには至っていない。	地域住民の心ある方々の「美しいまちづくり」をしようとする意識モラルが向上した。同時にコミュニティとしての一体感もより深まったと思われる。	「平気で道路を汚す非協力的な人をいかに意識付けし、協力してもらおうか」を課題として、来年度以降も当事業を継続実施し、目に見える形で成果が現れるようにしたい。第2ステップとして「花と緑にあふれたまちづくり」にも取り組みたい。				環境にやさしい課 環境衛生事業費	
リサイクル活動事業	40	補助金	40	ペットボトルキャップの回収リサイクルを行う。資源の有効利用を図ると同時に住民の意識を高める。	この事業により資源の有効利用を図ると共に住民の意識を高める。	住民の意識を向上、指定容器は配置場所の増加を図れた。	東山作業所の協力を得て、キャップの回収量に応じて大プラントを配れた。	設置場所の拡大を図る。住民への広報活動の充実。回収の能率化の為、方法を決定。				環境にやさしい課 環境衛生事業費	
箕面川美化整備事業	38	補助金	38	箕面川及びその流域の美しい環境を守り育て地域住民の憩いの場として整備する。	箕面川美化整備の拠点である「むくの木ガーデン」が地域住民に十分認知されておらず、憩いの場として活用されていない。地域住民からガーデン教室開催の要望があった。	開催日当日は「むくの木ガーデン」での開催は変わらなかったが、参加者には口頭で「むくの木ガーデン」をアピールすることが出来た。また参加者は悪戦苦闘しながら寄せ植えに取り組み、ガーデニング技術の一端を習熟することができた。	「むくの木ガーデン」地域住民に今まで以上に憩いの場として活用してもらおうことが期待される。参加者にガーデニングで興味を持ってもらったことで、現在の「汚れないキレイなまちづくり」から今後「花と緑にあふれたまちづくり」へと美しいまちづくりをステップアップさせていける。	水遊び場づくりやホテルの育成を課題としてきたが、実働部隊の里親の会の現在の障害(実質活動している人は少数で且つ高齢化)では実現の見通しが立たないため、来年度については、一旦サポート(支援)を打ち切りたい。「むくの木ガーデン」の整備は、今後里親の会単独で実施可能。			環境をまもる課 環境衛生事業費		
AED管理事業	9	消耗品費	9	使用期限の切れるパッドの交換を行う。	平成20年に井口堂北会館、平成22年石橋北会館。平成24年に旭丘会館にAEDを設置。	今年度は石橋北会館のパッド交換。	幸いにもAEDを使用するような事例は発生していない。	緊急使用時の冷静、適切な対応。				健康増進課 保健福祉事業費	
交通安全モラル教室事業	150	補助金	150	交通安全モラル教室を開催して交通事故防止のために、交通マナーを体得する。	最近自転車の増加と共に、自転車と車、歩行者とのトラブル、事故が著しく増加している。自転車の二人乗りや、携帯電話やスマホのながら運転などマナー違反が目につくのが実情である。自転車の正しい乗り方や、交通ルール、罰則等をわかりやすく解説し又実技を行うことにより、自転車事故の軽減と啓蒙を図る。	3月9日に石橋小学校の体育館、運動場で池田警察署、交通安全協会のご協力で約80名が参加して実施した。体育館で交通ルール、罰則などを学び、運動場では交差点の正しい渡り方やバランス感の実技を行った。	学校の授業の一環として、春や秋の交通安全週間等で継続的に地道に行くことで徐々に浸透していくことが出来得ると思われる。自転車のマナーアップと啓発の為に今回幟旗を購入したので、効果的に使用して自転車事故の軽減に取り組んでいってほしい。	道路改正法の改正による自転車の罰則強化と事故に対する裁判での損害賠償の発生に對しての自転車の自賠責保険等の加入の必要性。			交通・総務課 土木事業費		
公園整備事業	300	修繕料	300	稲荷山古墳の土砂流出防止のためにプラ樹木で階段状に整備する。	公園入り口が傾斜し、入り口付近に土止めが無い公園を利用したり降雨等により土砂が外柵から流出しており山が崩壊の危機に直面していた。	土砂の流出防止と公園利用をはかるためプラ擬木で土止めと入口を階段状に整備した。階段付近を見栄えと土止めを兼ねてプランターで花飾りした。	階段を設置したことにより、入口がわかりやすくなり、登りやすく公園を利用したり、稲荷山古墳の見学する人が増え、地域の人が自発的に草刈りや花植えして公園らしくなった。	今回の事業の入り口付近に限らず、外側一体の傾斜の土砂流出も激しく、早急に外柵をしっかりと整備する必要があると思う。				みずとみどりの課 土木事業費	
街路灯強化事業	189	電気使用料 請負費	15 174	最近ひったくり等の犯罪が多発しており、安心安全の向上のため、街路灯の整備増強を図る。	昨今は、街路灯の整備が進み、夜間も比較的安心して通行できるようにはなってきた。しかし、長年の使用によって、照度不足や器具の破損、消えてしまっている街路灯もある。	今年度は井口堂3丁目7-19、旭丘3-6-1、旭丘3-1-6の電柱に街路灯を設置した。	以前よりも地域内各所とも各段に明るくなり、安心、安全が強化されたように感じる。	順次LED化。				道路課 土木事業費	

各会部でまとめられたものを、役員会で決定する。

防災訓練や備品整備等、防災活動を継続いただいております。地域の防災意識の向上に寄与している。また、地域の昔を知る事業の冊子づくり、異学年交流、ペットボトル蓋の活用など様々な事業展開をいただいております。継続活動についても、内容の工夫など充実に期待する。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

異学年交流事業	100	補助金	100	異学年交流により上級生は下級生をいたわり、下級生は上級生を慕い敬う人間関係を幼少期から育成する。	同学年、同クラスの交友より希薄となりがちな異学年との交流により上級生は下級生を労い下級生は上級生(祖父母、両親等)を慕い敬う人間関係を育成し、地域住民間も顔馴染みとなり、仲良くなるように仕掛ける。	登下校の通学時や歩行時に交流会参加者児童から挨拶、目礼を送り親しさを表し、地域住民同士も挨拶する光景が増えた。	寒期中、多くの児童住民が参加し、楽しく、可笑しく、美味しく大きな声で歌い参加者全員が楽しい時間が過ごせた、今後も開催してほしいとの要望する声が多くあった。料理教室に参加した児童は、家でお手伝いを自ら出てるようになってよこんでいるとの声も聞こえてきた。	一回限りの事業とせず継続的に季節を変えて行い、今回参加できなかった人を呼び込み、事業内容を募集する等考慮して推し進めたい。		異学年が交流できる様々な教室や講演会に多くの児童・地域住民が参加し、年代を越えた交流が深まった。イベント後も参加者同士のつながりが保たれ、良い関係が築けている。有効な事業として評価できる。	教育センター 教育事業費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の向上とコミュニティ活動の充実に努める。	市民レクリエーション大会運営状況の厳しさ増加。	運営補助金として活用し、コミュニティ活動改善。	これよりコミュニティ活動の充実が図れた。	地域支援協力(広告代収入)が年々厳しさを増す中運営内容等についても再考していき		石橋スポーツ振興会が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費
地域の昔を知る事業	300	補助金	300	地域の生い立ち・成り立ちを知り絆や郷土愛を啓発するために「地域の昔を知る事業」を行う。	教育部会の地域を知ろうという事業がきっかけとなりました。古墳、町名の由来、昔の人の生活、行事等を纏めて冊子を作成しました。	小学生向けの内容に作っています。資料集めに協力していただいたりお話をするチャンスが出来た結果この地域の魅力発見となりました。	石橋小学校で児童が授業で地域を学習する時にこの冊子を活用して下さるとのことです。	このような冊子を作るときは小学生やPTAのメンバーが入ると違った角度のものが出来るのではと思われます。		地元に関する歴史について、冊子を作成し、小学校で利用することは、児童にも興味を持たずきつかけとなり評価できる。	生涯学習推進課 教育事業費
計	6,220			事業提案限度額	10,551千円	次年度繰越金額	4,331千円				

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

五月丘地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙等発行事業	266	補助金 266	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	カラー化したコミュニティ紙を年2回発行し、地域全戸に配布業者を通じて配布している。掲載記事はマンネリ化気味である。	紙面にコミュニティ活動の記事だけでなく、地域の公的イベント情報も掲載するようにした。	効果のほどはこれからだが、身近な記事が掲載されれば、もっとコミュニティ紙に興味を持ってもらえるようになり、PR効果も期待できる。	例えば、コミュニティカフェで行っているイベントの紹介など関心を持ってもらえそうな内容を考えて読んでもらうことが先決である。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業	77	補助金 77	都市機構の北集会所一部を借り上げ、協議会の拠点施設とする。	アルピス五月丘北集会所の受付事務所を拠点事務所として貸借している。	隣接する会議室を第2、第4日曜日にコミュニティカフェとして貸借しており、カフェで使う備品の収容場所になっている。	同時に展開したコミュニティカフェの拠点にもなり、利便性は大である。	カフェ用備品の収納場所にもなっており、少人数の打合せなどコミュニティの事務所としての利用は手狭で出来ない。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
コミュニティサロン設置事業	285	補助金 285	地域の人々に情報交換や交流の活動場所としてコミュニティサロンを月2回設置する。	第2、第4日曜日にUR北集会所を借りてカフェを開催し、うち1回は地域住民が喜びそうなイベントを開催している。	最近の傾向として、高齢者のリピーターが増え、高齢者仲間同士の憩いの場になっている。イベント開催時は親子連れが多い。	コミュニティカフェの目的の一つであるコミュニティ推進協議会のPRということでは効果はもう一つであるが、住民の憩いの場になってきた。	第2、第4日曜日という月2回の開催は利用者にとって分かりづらい。毎週開催がベターだが、人的な制約があつてつらいところである。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館設備改修事業	4,500	請負費 4,500	五月丘会館のトイレは男女共用になっているため、学習室の一部を削り女子用トイレを新設する。	五月丘会館のトイレは男女共用となっている。会館を利用する女性から女子専用のトイレを新設して欲しいという要望が以前からあった。	1階のトイレに学習室の一部を取り壊すことにより女子専用トイレを新設した。	洋式・ウォシュレットになり、満足度は高い。	女子トイレ新設により、1階の男女共用トイレは男子専用になったが、和式トイレで時代にそぐわなくなった。				地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
防犯カメラ設置事業	500	修繕料 500	安全で安心な暮らしの実現に向け、さらなる街頭犯罪件数の減少を図るため、防犯カメラを設置する。	犯罪抑止、交通安全の面から、五月丘交差点に当地域では初めて防犯カメラを設置した	五月丘交差点に引き続き、UR中央集会所東南角のやまざくら通り交差点に設置した。同所は保育所がらみの親子や通学する小学生の往来が多い。	設置したカメラの支柱に防犯カメラ作動中という看板が付けてあるので、犯罪の抑止効果がある。今までないが、交通事故の解明にも効果ある。	カメラの設置場所は、ほぼ公共の敷地に限られるので、増設していくが場所的な制限がある。				危機管理課 安全防災事業費
防犯カメラ管理事業	6	電気使用料 6	防犯カメラの電気代を賄う。	五月丘交差点に設置した防犯カメラ維持管理のための電気料金など	同上	維持管理に必要					危機管理課 安全防災事業費
緊急通報装置管理事業	2	電気使用料 2	緊急通報装置の電気代を賄う。	通報装置の機能維持のための電気料金	同上	犯罪の抑止効果					危機管理課 安全防災事業費
地域防災訓練強化事業	50	補助金 50	防災意識向上のため、ポスターの製作と地域をはじめ隣接地域と合同で防災訓練や勉強会を実施する。	地域住民の防災意識向上のために地域内3自主防災組織が合同で総合防災訓練を行う。	今年度は五月丘小学校体育館で避難所訓練を行った。	参加人数は増加傾向にある。	3防災組織以外にマンション管理組合など広く合同訓練に参加を呼び掛ける必要がある。				危機管理課 安全防災事業費
電動自転車安全パトロール事業	45	補助金 45	坂道の多い五月丘地域内で、地域住民の協力を得て、安全パトロールを実施し、犯罪の抑制を図る。	新設した自転車置き場に3台保管しているが、稼働状況は、先生方の利用も含め、極めて不満足な状況である。	前年度と同じ。	学校が保管場所出関係もあって、子どもの安全に気を配りながらの先生の利用が多い。	会員の高齢化で、電動自転車による定期的なパトロールが出来ていない。別途、稼働方法を考える必要がある。				危機管理課 安全防災事業費
盆踊り大会支援事業	225	補助金 225	地域団体が実施する、盆踊り大会の運営にかかる経費の一部（会場運営用電気設備他）を支援する。	地域にとって市民運動会に並ぶ数少ないイベントである。設備を徐々に更新しており、子供を中心に来場者が増えている。	照明設備のLED化などの更新を行っており、以前より明るい雰囲気での盆踊りとなった。	毎年来場者が増えている。地域にとって欠かせないイベントである。規模的にも他地域に負けなくなっている。	スボ振自前の太鼓で女子小学生が太鼓の練習を行っている。照明設備の更なるLED化などを行い、一段と盛り上がった盆踊りが期待できる。				観光・ふれあい課 地域活性化事業費
まちなみ花いっぱい整備事業	78	補助金 78	小・中学校関係者とともに協働で地域の人々が花を育て、花を通じて人々の心を豊かにする。	小学校3年生が春には花壇へ花苗を移植し、秋には花芽を育て、育った花苗を花壇に移植したり、保育所、幼稚園などの団体に贈呈する。	3年生の授業の一環になっている継続事業。池田土木事務所の期限付事業であったが、コミュニティが事業を引き継いだ。	育てた花を通して、命を大切にするという気持ちを子供たちに植え付ける。PTAも参加し、地域コミュニティのPRにもなっている。	毎年やっていることは同じでマンネリ化しているが、3年生のカリキュラムのひとつなので継続が必要である。				環境をまもる課 環境衛生事業費
AED管理事業	120	消耗品費 120	使用期限が切れるバッテリーの交換を行う。	五月丘会館、ビューグラデ池田五月丘、セブン・イレブンの3ヶ所にAEDを設置している。	設置3ヶ所において使用期限の切れる消耗部品の交換を行った。	昨今、AEDの効用が話題になっており、いつでも使える状態にしておくことが肝要である。	地域のハザードマップに設置場所を記載しているが、周知されているか疑問である。使い方に一抹の不安がある。				健康増進課 保健福祉事業費
昆虫育成等講習会実施事業	100	補助金 100	五月山をカブトムシ等昆虫が生息できる環境整備を行う。	6ヶ所の産卵場のうち、市民の森1ヶ所、児童文化センター、塩塚公園の3ヶ所の整備をしている。	市民の森の産卵場は、調査の結果、効果なしと判断し、児童文化センター、塩塚公園の2ヶ所のみ腐葉土の入れ替えを行った。	2ヶ所の腐葉土入れ替え作業に立ち会い、カブトムシの幼虫の調査を行ったが、腐葉土入れ替えによる効果は確認出来なかった。	産卵場の腐葉土の入れ替え、補充はその効果が目に見えないため、26年度の事業を最後に終了する。				みずとみどりの課 土木事業費
イベント運営事業	565	補助金 565	地域交流や地域活性化などに重点を置き、地域住民参加型のイベントを行う。	イベントを行う際の用具が、昨年購入したテント1張りだけで不足している。	イベントに必要なテントや折りたたみテーブルを追加購入し、イベント開催の準備が整った。グランドゴルフ大会は継続して実施した。	購入しているテントは組み立てが簡単で、高齢化しているコミュニティ会員でも取り扱える。今後、計画している五月丘祭りに大いに役立つ。	地域で行うイベントに積極的に利用を促し、用具の有効利用が必要である。				生涯学習推進課 教育事業費
市民レクリエーション大会事業	222	行事報償金 222	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。地域コミュニティ意識の高揚に努める。	スポーツ振興会が教育委員会の行事報償金で市民運動会を主催しているが、地域コミュニティが予算枠を計上して支援している。	大会がより盛り上がるよう地域コミュニティの予算枠を前年より大きくして支援した。継続事業であり、運営実態は変わらない。	参加人数は年々増えている。地域にとっては数少ないイベントの一つ、地域住民の触れ合いの場として積極的に協力していく。	参加者は小学生と親御さんが中心、プログラムを工夫して地域住民の一段の参加が見込めないか。				生涯学習推進課 教育事業費

各部会からの報告を受け、役員会でまとめられたものを総会で決定する。

五月丘会館の整備をいただき、利用しやすい会館となった。地域の中心として活用を期待する。また、五月丘フェスタやカフェの充実により地域の活性化に期待する。

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

計	7,141	事業提案限度額	11,275千円	次年度繰越金額	4,134千円
---	-------	---------	----------	---------	---------

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

石橋南地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目(目)
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙等発行事業	295	補助金 295	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を発行する。	地域コミュニティ紙を各戸配布によりコミュニティ紙の活動の理解が深まる。	地域コミュニティ紙の活動の理解が高まってきている。 地域コミュニティ紙の活動に参加したいという人が出て来ている。	今後もコミュニティ紙をカラー刷りにすることで、読みやすく、解りやすく、親んでもらえる、コミュニティ紙にしたい。 平成25年度からコミュニティ紙編成メンバーを増やしより良いコミュニティ紙に取り組むことにした。			カラー刷りや内容の充実など、今後も創意工夫のある紙面づくりに期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館備品整備事業	350	修繕料 350	災害発生時に避難所に指定されている空港会館に「かまどベンチ」を設置し、被災後の炊き出しの拠点とする。	地震など災害時における避難場所であるので備品整備と考えた。	現在災害訓練の日に利用した。	現在は、防災訓練時に利用して効果を発揮している。	利用価値が大きいと考えている。			訓練等で有効活用いただいている。今後も訓練等で活用いただき地域の防災意識向上に期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館設備改修事業①(スロープ照明取付)	531	修繕料 531	石橋会館入口へのスロープに足元照明を設置して安全確保を図る。	石橋会館の利用者にとって入り口までのスロープが暗い為安全確保が必要とする。	会館スロープに照明をつけて歩行者の安全に確保できた。	照明があるので歩きやすくなった。	石橋会館に入るのにスロープを上らなければならぬので高齢者に取っては大変なのでエレベーターの設置が望まれる。			会館スロープの照明により安全性が高まった。今後も会館の活用による地域の活性に期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館設備改修事業②(スロープ手摺取付)	699	修繕料 699	石橋会館入口へのスロープに高齢者に対応した手摺を増設して安全・安心確保を図る。	石橋会館に入るには高齢者にとってはスロープがきついで来訪者には厳しい、会館である	スロープに手摺がついたので上り下りが安心して歩行できる。	スロープに手摺がついたので上り下りが安心して歩行できる様になった。	スロープ無しで会館利用できる方法考えるべきと思う。			手すり設置によりスロープ歩行時の安全性が高まった。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館設備改修事業①(会館内手摺取付)	163	修繕料 163	石橋会館内階段に高齢者に対応した手摺を設置して安全安心確保を図る。	階段に手摺がない為上り下りが大変である。	手摺があることで上り下りが安心して歩ける。	手摺があることで上り下りが安心して歩ける。	なし			会館内階段への手すり設置により、安心して使える施設となった。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
防犯カメラ設置事業	1,276	修繕料 1,276	石橋駅周辺に犯罪の抑止と安全なまちづくりのため、防犯カメラを設置する。	石橋商店街の赤い橋でひたつき、痴漢行為など多発しているため防犯カメラを3基設置する。	設置後警察から開示要請がありその効果が出ている。	設置後すぐ警察から開示要請がありその効果が出ている。	防犯カメラの、効果は大きいと思われるので、増設していきたい。			地域の危険箇所を防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する	危機管理課 安全防災事業費
防犯カメラ維持管理事業	480	電気使用料 30 設備保守点検委託料 450	校区に設置した防犯カメラの維持管理を行う。引き続き地域内の犯罪の抑止と住民の安全・安心な生活環境を確保する。	校区内設置されているカメラの維持管理を行い、犯罪の抑止と子供の安全、安心の確保を図る。	校区内における犯罪が多く昨年に続き本年も、設置後防犯カメラの開示要請があり、警察、防犯カメラ運営委員会と行政の立会を2回実施した。	開示要請は無いほうがよいが、目的が達成でき、設置の稼働に意味深いものがあつた。	防犯カメラ装置の操作方法を、短時間で開示できるよう運営委員会と模索研究する。増設に伴い維持管理費の負担が大きくなる。			防犯カメラの運用が、犯罪の抑制に繋がっているとの声があり、適切な管理による今後の犯罪抑制に繋がることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費
地域自主防災体制強化事業①	1,364	器具費 584 補助金 780	空港地域の安全・安心活動のため、防災資機材を購入配備し、体制の強化・環境の整備を支援する。	空港地域の安全。安心活動のため。防災資機材を購入配備し、体制の強化・環境の整備をして行く。	防災組織体制をつくり安全強化を図っている。	防災資機材を利用して訓練強化体験をつんでいる。	防災資機材の利用に管理の強化が必要。	各部会でまとめられたものを協議会で決定する。		地域内の防災備品を適切に配備・管理することができ、万が一の際に適切な利用されることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費
地域自主防災体制強化事業②	605	器具費 605	石橋南地域の安全・安心活動のため、防災資機材を購入配備し、体制の強化・環境の整備を支援する。	石橋南地域の安全・安心活動のため、防災資機材の購入配備し、体制の強化を図る。	石橋南自主防災会に必要なに応じて貸し出しできる制度も確立する。	防災訓練に手際よい活動能力の向上	地域住民の広報活動			地域内の防災備品を適切に配備・管理することができ、万が一の際に適切な利用されることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費
地域行事等活動推進事業	130	補助金 130	地域で開催される行事等を主催する団体に、活動推進に係る支援を行う。	地域で開催される行事等を主催される団体に、活動推進に係る補助を行う。(石橋まつり)	地域で開催される行事に補助金として支援する。	地域だけの行囊(祭り)でなく、池田市全域にわたる伝統行事となっている。	地域で開催される行事が、親睦と人の交流との中にあって、安全対策が必要である。			事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
石橋駅前アーケード看板維持管理事業	30	補助金 30	石橋駅前に設置したアーケード看板に常時照明をつけることにより駅利用者等の視認性を高める。	石橋駅西口のアーケードが完成。このアーケードに「ウエルカム石橋」と「石橋駅の表示」をデザインした看板を設置する。	石橋駅、西口改札付近の通路幅が狭いため、改札口付近は人の混雑が起っている状態です。その解消の為に、目印の看板を取り付ける。	石橋商店街と、石橋駅西口の改札との人の流れが看板表示で石橋商店街や、石橋駅西口改札出入りのPRができる。	商店街は色々な看板が多いので、看板表示にひと工夫が必要。駅改札口を出てきた人の流れが、良くなるようにすべき。			石橋駅界隈の通行者の視認性を高めた。	地域活性化課 地域活性化事業費
AED管理事業	321	消耗品費 321	使用期限が切れるパッド及びバッテリーの交換を行う。	地域に設置されたAEDの電極パッドの使用期限到来に伴い電極パッドを購入する。	設置後AEDの使用は行われていないが、緊急時に必要とされるものである為、使用扱いを覚えておく必要がある。	現在いちども利用していないので、AEDの効果はわからない設置されていることの効果はある。	AEDの電極パッドの使用期限が早すぎる。			引き続き、AED設置・管理要領に基づき、維持管理、救命講習の実施に努めていただきたい。	健康増進課 保健福祉事業費
公園整備事業	1,050	修繕料 1,050	石橋前池公園に公園の利便性向上と災害対策のため、ベンチ及びかまどベンチを設置する。	石橋前池公園にベンチ及びかまどベンチの設置	災害時の避難時にかまどベンチが必要と考え設置する。	公園がリニューアルされベンチも増設されたので公園での利用度が増えている。	遊具の利用には大事にすべきと思う。			ベンチ及びかまどベンチを設置することで、憩いの場となっている。また、かまどベンチは災害時の効果が期待できる。	みずとみどりの課 土木事業費
公園看板設置事業	312	修繕料 312	公園利用者に気持ちよく利用し、近隣住民に迷惑の及ぼさないように心掛けてもらう看板を設置する。	公園利用者に気持ちよく利用してもらい。近隣住民の迷惑の及ぼさない様に心掛けてもらうための看板設置。	公園での利用マナーがわかってくれればと願っている。	利用者もすこしずつ看板が目がいっているようである。	住民一人ひとりが利用マナーを心がける様啓発して行く。			利用マナー看板の設置により、公園利用者のモラル向上に期待できる。	みずとみどりの課 土木事業費
水路安全対策事業	460	修繕料 460	空港1丁目農業用水路上の簡易通行鉄板を撤去してグレーチング設置し、通行安全を図る。	空港1丁目農業用水路上簡易通行鉄板を撤去してグレーチングを設置し、通行安全を図る。	危険な鉄板が惹かれていたが、安全に通行できるようになった。	危険な鉄板が惹かれていたが、安全に通行できるようになった。	地域住民で維持管理していく。			水路上に設置している鉄板をグレーチングに交換することで、通行時の安全性が向上した。	みずとみどりの課 土木事業費
街路灯強化事業	320	請負費 320	空港1丁目地域の一部街灯をLED街灯に取り替え明るくし、安全・安心のまちづくりを行う。	空港1丁目地域の一部街灯をLED街灯に取り替える。	明るい安心・安全な街にして行く。	明るく耐久性があるLED自治会で設置している街灯をLEDに取替自治会で管理して行く。	LEDの街灯は明るく、防犯上効果がある。			街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金 200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の向上に努める。	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の向上につとめる。	校区で開催される市民レクリエーション大会の運営費の補助を行う。	地域住民の健康づくりと、交流の深め楽しい憩いの場とする。	地域住民の多くの人々参加が望まれる。			小学校の耐震化工事のため、未執行	生涯学習推進課 教育事業費
計	8,686		事業提案限度額 10,486千円	次年度繰越金額 1,800千円							

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(千円)		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目(目)
		説明									
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費
地域コミュニティ紙等発行事業	200	補助金 200	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	例年、当コミュニティ推進協議会の提案事業、地域のイベント、防災キャンペーン等の内容で4000部を発行し、校区内の全戸配布を実施している。	25年度は、花しょうぶ祭りでの野点、緑丘2丁目公園のリニューアル、ワクワクどきどき探検隊、星座観察会、オオクワガタムシ育成講習会、音楽の宝箱、市民レクリエーション大会、水月児童文化センター前でのミニコンサートとフリーマーケット等の当コミュニティ推進協議会の提案事業の紹介のほか、交通安全や防災キャンペーンなどを報じたHAMICを3回および防災特集号を発行し、地域の全戸に配布した。	花しょうぶ祭りでの野点では、HAMICに印刷された高齢者招待券を利用された方が数十名あった。	今後も地域密着型の記事を報道し、地域分権の普及および地域活性化の一助とする。			地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
アルビス緑丘中央公園時計整備事業	134	補助金 134	アルビス緑丘中央公園にソーラー電波時計を設置する。	1) 当該公園には、従来、時計が設置されておらず、公園利用者にとってふべんであった。	1) 公園南西部の建屋の外壁に保護ガード付きの時計を設置した。	1) 公園利用者が時間を確認できるようになり、好評である。	1) 時間を忘れて遊ぶ子供たちがいないかどうか注意するとともに、いる場合は付近の住人が適切に指導していく必要がある。			地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
防災備品整備事業	50	補助金 50	自主防災組織に対してLED照明器具及びコードリールの配備を行う。	1) 地域には大型の水銀灯や発電機はあるが、軽便な照明機材がない状態であった。	1) 非常用照明器具および30mコードリール2台を購入し、非常時に加え、通常の夜間イベントでもしばしば活用している。	1) 非常に軽便なため、地域の各種団体へも貸し出し、活用している。	1) 特になし			危機管理課 安全防災事業費	
地域イベント開催事業	590	補助金 590	移動動物園と野だての会を開催し、花しょうぶ祭りを来園者に楽しんでいただく。また、水月児童文化センター前をいこいの広場として定着させコンサートやフリーマーケットを開催する。	1) 23年度に、当コミュニティ推進協議会と水月茶の湯の会で復活させた野点は、多くの方に楽しんでいただいている。 2) 移動動物園は、毎年実施してきており、大好評である。 3) 水月児童文化センター前の広場に設置した野外ステージやテラスの活用を具体化する必要がある。	1) 25年度は、約1300名の来園者に野点を楽しんでもらうことができた。また、地域の高齢者にとっても憩いの場となった。また、水月茶の湯の会の指導のもと、約30名の地元住民がスタッフとして参加することが出来た。 2) 移動動物園では多くの未就学児童が小動物との触れ合いを楽しんでいた。 3) 水月児童文化センター前に完成した野外ステージを活用し、幼児向けのミニコンサートを開催し、同時に有志を募りフリーマーケットを実施した。また、今後も継続する。	1) 幼児から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる地域イベントとなった。	1) 地域のイベントを今後も活性化するため、これらの事業を継続させることが必要である。 2) 野点については、さらに多くの地元住民がスタッフとなり、運営を支えていく体制を構築する必要がある。			観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
AED管理事業	9	消耗品費 9	使用期限が切れるパッドの交換等を行う。	1) 以下の3箇所に設置したAED部品の使用期限切れに伴う交換が必要であった。 鉢塚会館(成人用パッド)、アルビス緑丘(成人用パッド、小児用パッド、バッテリー)、水月児童文化センター(成人用パッド、小児用パッド、バッテリー)	1) 予定通り交換を実施した。	1) AEDの健全性を回復した。	1) 期限管理を確実に行う。			健康増進課 保健福祉事業費	
公園施設改修事業	3,876	請負費 3,876	緑丘2丁目公園施設の改修を行う。	緑丘2丁目公園は、遊具の老朽化が激しい上、水はけや美観も悪い状況であった。また、就学前の子供の利用が多いにもかかわらず、幼児向けの遊具が少なかった。このため、H24年度は、ブランコ以外の1日式の遊具を撤去し、水はけを改良した。また、花壇を設置し、明るい公園に改修した。	H25年度は、主に幼児向けのコンビネーション遊具等を設置した。また、付近の住民有志が、清掃グループを作り活動を開始した。	公園全体が明るい雰囲気となり、利用者から好評を得ている。	引き続き、清掃活動を継続する。		公園設備改修や学校トイレの改修など、地域施設の利便性や魅力が高まった。また、昆虫育成・イルミネーション・ふれあい講習・ふるさと再発見など、ソフト事業も広く展開いただいている。今後の更なる工夫と内容の充実に期待する。	みずとみどりの課 土木事業費	
昆虫育成講習会実施事業	500	補助金 500	地域自然に生息するオオクワガタの飼育・繁殖・放虫を通じて、自然教育・生命保護の大切さを体験する。	1) 昨年より、オオクワガタムシ育成講習会を開催し、生命の大切さ・生命を育むことの素晴らしさを伝えてきた。	1) 本年もオオクワガタムシ育成講習会を特定非営利活動法人NPOクワガタ探検隊に委託し年3回実施した結果、毎回50組約100名の参加者があった。	1) 未就学児童から小学生までが、オオクワガタムシ育成講習会を楽しむとともに、生命の大切さを学んだ。また、講習会を通じて親子のコミュニケーションが活発に行われた。	1) 事業運営の効率化、円滑化を図る。			みずとみどりの課 土木事業費	
緑丘小学校設備改修事業	1,377	修繕料 1,377	緑丘小学校のトイレを一部改修し、地域のイベント時や災害発生時に使用できるようにする。	1) 学校施設は広く地域住民に開放されているが、トイレは教職員用を利用するしかなく、体育館やグラウンドの利用者にとっては不便であった。	1) 屋外のプール脇のトイレを子供用から大人用の洋式トイレに改修した。	1) 体育館やグラウンドの利用者にとり便利になった。	1) 特になし			管理部総務課 教育事業費	
緑丘小学校イルミネーション支援事業	240	補助金 240	渋谷中学校ふれあい事業であるイルミネーションコンサートを支援する。	1) 緑丘小学校の冬季イルミネーション用電球の老朽化が顕著であった。	1) 老朽化により球切れとなったものを補充するとともに、省エネのためLEDライトを購入した。	1) 例年通り、イルミネーションが実施でき、子供たちや近隣住民を楽しませている。	1) 引き続き、球切れ補充の考え方で、適切に支援していく。			教育政策課 教育事業費	
子ども安全見守り隊支援事業	360	補助金 360	緑丘小学校児童の登下校の見守り隊の活動を支援する。	1) 登下校時の児童の見守り活動の必要性は、昨今、特に注目されている。	1) 緑丘小学校の子ども安全見守り隊の活動を支援するため、道路横断旗とベストを配備した。	1) 登下校時の児童の見守り活動の重要性が再認識された。	1) 学校、PTAと地域住民の連携で、子供の見守りを持続する必要がある。			教育センター 教育事業費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

ふれあい講習会開催事業	500	補助金	500	星座観察会を通じて親と子のふれあいの場を提供する。子どもたちに、本格的な音楽に接する機会をつくるためのイベント「音楽の宝箱」を開催する。	1) 例年、夏は体育館でのイベントと天体望遠鏡による星座観察、冬はプラネタリウムと天体望遠鏡による星座観察を行ってきた。 2) 地域イベントの「ふれあいフェスティバル」の午後の部として音楽の宝箱を企画し、大阪音楽大学の協力を得て実施してきた。	1) 夏の星座観察会は、気象警報発令のため中止した。これによる混乱はなかった。冬は屋外での天体観測のほか、体育館でのスライドショーまたプラネタリウムを親子参加型で開催した。 3) 関西を代表するオペラ歌手の生の歌声楽しんだほか、歌手の指導のもと、参加している子供達を含め全員で「花は咲くJ」を大合唱した。	1) 未就学児童から保護者まで幅広い年齢層の参加者延べ160名が楽しめる教育イベントとなった。 2) 約150名の参加者が、プロの迫力ある歌声を堪能した。また、親子に馴染みのある楽曲の合唱を楽しんだ。アンケートでも、来年の開催を要望する声が多かった。	1) 地域の児童科学教育として、本事業を継続させる必要がある。 2) 今後も、子供から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる内容とする。また、参加者の更なる増加を図る。	毎年実施の「星空観察会・音楽会」を年毎に趣をかえて実施していることが評価できる。	生涯学習推進課 教育事業費	
ふるさと再発見講座開催事業	330	補助金	330	わが町に愛着、誇りが持てるように池田の歴史や自然を再発見する講座を開催し、同時に親子ふれあいと地域住民のコミュニケーションを図る。	1) 池田について学ぶのは、小学3年生以降の授業の中であるが、実地に現場へ出かける機会は限られている。 2) 空港見学を取り入れてから、応募が、募集定員の3～4倍に急増しているため、実施回数の増加を検討したが、2回しかとれなかった。 3) 3回目は、池田炭と鉢塚古墳とした。	1) 本年も昨年同様、募集定員の約3倍の応募があったが、抽選方式を改め、各校の定員の1/2づつを割り当てる事とした。 2) 本年も企画段階および実施段階の両面で、緑丘小・附属小の教員の協力を得ることができた。 3) 池田炭について、今も炭を販売している業者の方から講話を聴くことができた。	1) 児童の日常会話の中で、大阪空港や整備工場等「ふるさと池田探検隊」で訪問した場所について語られていることから、一定度の効果があったと思われる。 2) 空港見学は、依然として多くの関心を集めている。	1) 空港見学は、平日でしか実施できないため、夏休み期間中の事業としているが、学校行事と重ならないよう留意しながら、今後できるだけ実施回数を増やしたい。	池田市内の施設見学は見識を広めることとなり評価できる。	生涯学習推進課 教育事業費	
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。地域コミュニティ意識の高揚に努める。	1) 例年、地域住民が気軽にスポーツに親しむ機会となるよう、また、住民の体力・健康づくりの場となるよう、緑丘小グラウンドにて運動会を開催している。	1) 本年度も、鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会の支援事業として開催し、多数の参加者を得た。	1) 子供から高齢者まで幅広い年齢層の参加者が楽しめ、かつ体力と健康づくりの地域イベントとなった。	1) 地域のスポーツイベントとして、本事業を継続させる必要がある。	スポーツ推進委員が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費	
計	8,466			事業提案限度額	8,825千円	次年度繰越額	359千円				

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

神田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価ポイント	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）	
		説明										
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費	
地域コミュニティ紙等発行事業	500	補助金 500	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	事務費予算の範囲内で年1回発行。（白黒印刷）	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。（22年度以降継続）	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので地域への活動内容のPRができた。	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で募集を続けることが必要。	各部会からの報告を受け、役員会でまとめられたものを総会で決定する。	掲示板・カメラ・小学校緑化等により地域の魅力や利便性の向上につながった。今後は地域の各種団体との連携を深めていただき、活動の活性化に期待する。	カラーの紙面や発行回数を増やすなど努力いただいている。今後も創意工夫のある紙面作りに期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
地域掲示板設置事業	1,750	修繕料 1,750	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を地域住民に知らせるため、掲示板を設置する。また、地域団体と共に使用出来るようにする。	過去に民間事業者が設置した掲示板を使用していたが、老朽化等もあり使えない状態が続いていた。	ガラス扉付の掲示板を設置した。	雨水にも濡れなくなり、校区内各種団体にも活用されている。	未設置箇所を調査し設置することが必要。				掲示板の更新により地域の各団体とのつながりの強化にも寄与している。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館備品整備事業	240	庁用器具費 240	地域内会館の備品を整備し利用者の利便を図る。	地域内会館の机・椅子等が旧式で重く、高齢者等が準備に苦労していた。	机についてはキャスター付きの折りたたみ式に変更、一部会館では合わせて椅子も軽量なものに取替を実施した。	高齢者等の机椅子等の準備作業が大幅に軽減された。利用者からは感謝されている。	椅子の軽量化がすすんでいない会館について、必要性の検討が必要。（費用対効果の見極めが必要）				費用対効果を考え会館の利便性を高めていただいた。会館の活用促進にも期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
安全パトロール実施事業	70	補助金 70	地域の安全・安心の向上に応えるため、パトロール隊が電動自転車で行う。	P.T.Aによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。H20年度からパトロールを開始することになった。	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区安全パトロールが実施された。（平成21年1月以降）平成24年度につき、継続実施できた。	安全パトロールによる直接の目に付く効果は無いが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。また、PRのためパトロール中の肩掛け柵も新設し効果をあげている。	ボランティア人員の確保・増員が必要。				今後ともパトロール活動の強化に努めていただきたい。	危機管理課 安全防災事業費
防犯カメラ設置事業	700	電気使用料 5 修繕料 695	安全で安心な暮らしの実現に向け、防犯カメラを設置する。	神田小学校南西角の交差点での事故が多発していた。（死亡事故も含む。）使えない状態が続いていた。	交差点全体をカバーする防犯カメラを設置した。	カメラ映像を見るような事故が発生しなくなった。	事故抑止効果をさらに高めるため、「防犯カメラ作動中」看板を大きくすることが必要。（ドライバーからもよく見えるように）				地域の危険箇所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する	危機管理課 安全防災事業費
地域行事等活動促進事業	200	補助金 200	地域で開催される盆踊り等の行事を支援し、コミュニティ意識の高揚を図る。	神田小学校校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。	地域行事の活性化が図れた。	毎年、助成必要金額の検証が必要。				事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費
街路灯強化事業	31	電気使用料 31	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、既存の街路灯の照明を維持する。	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。（放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘）	20年度に町会・自治会からの要望のあったものを中心に、街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果が出ていると思われる。	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。継続して街路灯設置要望を受け付けるようPRも必要。農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となったが、地主をどのように調査するか検討が必要。				街路灯の強化により、地域内の夜間交通の安全確保が図られている。	道路課 土木事業費
神田小学校緑化事業	2,000	請負費 2,000	地域交流の場として神田小学校正門周辺の緑化推進を図る。	神田小学校正門前の広場が喫煙場所として利用され騒音をかかっていた。	喫煙場所として使われてい場所に、しだれ桜等植樹し緑化推進ができた。	喫煙する光景が見られなくなり、小学校の正門らしくなった。	草ひき・水やり等の世話が必要。各樹木に名札をつけ、子供にも親しまれるようにすることも必要。				緑化の推進による学校施設的美観の向上に資するとともに、草木に触れる機会の提供という教育的な利点も見込める。	管理部総務課 教育事業費
キッズランド用備品購入事業	150	消耗品費 150	キッズランド用備品を充実させる。事業内容の拡充と参加者の増加を図る。	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。	毎年、助成必要金額の検証が必要。備品購入必要金額の検証が必要。				「キッズランド」のパソコン教室に必要なプリンター用インクや用紙は、参加者の活動に必要な不可欠な物品であり、活動の充実や参加者の増加につながっている。有効な事業として評価できる。	教育センター 教育事業費
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金 200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の高揚に努める。	神田小学校住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。	地域行事の活性化が図れた。	毎年、助成必要金額の検証が必要。				神田スポーツ振興会が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費
計	5,941		事業提案限度額 12,441千円	次年度繰越金額 6,500円								

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

伏尾台コミュニティ推進協議会

事業名	予算額（千円）		概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果	今後の課題等	協議会における 評価	市の総合評価	市担当課の評価	所管課 科目（目）	
		説明										
地域コミュニティ推進協議会事務事業	100	交付金 100	協議会の運営上必要な庶務的経費の他、地域住民への啓発及び周知に係る事務費。								地域分権・協働課 地域分権総務費	
地域コミュニティ紙等発行事業	200	補助金 200	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸に配布する。	伏尾台では、協議会の広報紙の発行に際し、紙面の作成、印刷、地域全戸配布作業の全てを、協議会メンバーのボランティアで実施してきた。費用は紙代等の実費のみであった。	H25年度は、広報紙発行を外委託するべく模索するが、自前で全ての工程を行う方が臨機応変に対応できるため、本年度も、協議会の活動を紹介する「協議会活動案内書」、通常の広報紙、「第10号」、伏尾台地域活性化事業で行う3回の「山びこフェスタ開催案内」のポスター、回覧チラシの全5回の広報活動を協議会メンバーのボランティアで実施した。	「協議会活動案内書」は、年度替わりで入れかわる自治会役員、班長等への協議会活動の周知に極めて有効であった。「協議会活動案内書」と広報紙「第10号」は、全戸配布されたため、協議会入会、アンケート回収や安全パトロール隊員の応募などに極めて有効であった「山びこフェスタ開催案内」のポスター、回覧チラシにより、イベントが有意義に実施された。	広報活動の効果は十分にあり、協議会メンバーのボランティアで実施したため、予算の大半は不用で市へ返却できたが、協議会メンバーへの負担は極めて大きかった。次年度は、広報紙発行を主に外部委託することを実施したい。			手作りの広報誌作りにより、経費を削減しながら充実した紙面となった。業者委託とのバランスを考慮し息の長い活動を期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費	
伏尾台ホームページ開設事業	200	補助金 200	ホームページを開設することで、協議会や地域の活動等に関する情報を発信し、地域活動等の活性化を行う。	協議会事務局を開設するも、老朽化建物で雨漏りや結露が著しく、書類等の保管ができず、いわゆる事務所としての機能が発揮できなかった。また、協議会活動の広報の一環としてホームページの開設を望むが、事務所へ光ケーブルの敷設とインターネットの開設並びに専用PCの導入保管することができなかった。	本年度の協議会事務局運営事業にて、7月に屋根修復工事並びに光回線の敷設が完了して、事務所としてようやく機能し始めたので、本ホームページ開設事業にて、専用のPCと今後の事務処理のためのMSO飾ceソフトを購入できた。本年度後半より、ホームページ開設に向けて、これまでの協議会活動に関する文書や写真等のデータの収集、整理を始めることができた。協議会専用のインターネットの開設並びにH.P.アドレスの取得はこれを完了した。アンケート調査可能なHP.とすべくフォーマットを調査開始した。	本事業の目的である、PCを導入し、ホームページ開設に向けて文書や写真等のデータの収集、整理、協議会専用のインターネットの開設並びにH.P.アドレスの取得、アンケート調査可能なH.P.のフォーマット調査は、全て完了した。	ブログまたはアンケート調査可能なH.P.のフォーマットに関する調査等が完了次第、H.P.をアップロードし、随時更新する予定である。この作業はあくまで協議会メンバーがボランティアで行う予定である。				HP開設への準備が整ったとのことであり、今後市の作成するHPと連携しながら、協議会の活性化につなげていただけるよう期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
地域内会館設備改修事業	777	修繕料補助金 395 382	伏尾台第1コミュニティセンターを改修し、利便性の向上を図る。	伏尾台第1コミュニティセンターの一階和室では、障子が設置されているが、障子紙がよく破れていて、補修されることもなく美観を損ねていた。一階文庫室では、カーテンが日照で劣化して破れており、機能しない状況であった。同一階小会議室では、エアコンの水漏れ、かびの発生があり、補修を行うも、完治しない状況であった。同一階トイレでは、以前のバリアフリーの改修がなされて利便性が向上したが、幼児連れの親が子供と一緒に使用するためのベビーチェアがないと指摘されていた。	和室では、障子を撤去（2階機械室へ保管）して、カーテンレールと防災カーテンを設置し、文庫室も防災カーテンを更新した。小会議室では、エアコンの入替が実施された。1階のバリアフリートイレでは、壁にベビーチェアが設置された。	和室の障子撤去とカーテン設置は、時間帯と天候に応じて日照を調節できると好評である。文庫室では、カーテンの更新により、美観並びに機能が向上した。小会議室では、子育て支援グループより、幼児たちへの健康不安なく室内が利用できることと評価された。1階のバリアフリートイレでは、幼児連れの親子が安全に利用で切ると評価された。	伏尾台第1コミュニティセンターの2階トイレは、男女兼用のレイアウトであるが、男子小用便器が便座個室の直前に配置されており、男子小用便器の使用時には、女性が使用し辛く、女性はほとんど1階トイレを使用する不便があった。改修が望まれる。				地域の拠点である伏尾台第1会館を整備いただいた。今後も今まで以上に活用を高めていただき、地域の活性化に期待する。	地域分権・協働課 コミュニティ推進事業費
安全パトロール実施事業	600	補助金 600	地域安全パトロールを実施し、地域の安全・安心の向上に応える。	実施前は小学校の登校時に、主に民生委員等による見守りがあった。平成20年9月より実施し、当初小学校の登校時を中心に、平成20年は1回1時間、1日6回のパトロールからスタートし、平成21年より1日4回に組み直して実施した。平成24年は、小学校の曜日毎、学年毎の下校時刻に応じて、スケジュールの見直しを行った。	H25年度は、登校予定日、小学校の曜日ごと、学年ごとの下校時刻の違いに応じて、より細かくパトロールスケジュールの見直しを行い、1回1時間、1日2～3回のパトロールを実施した。	朝のパトロールは走行よりも主に定点立ちとし、小学生にあいさつの声掛けを積極的に行い、中学生、出勤の人まであいさつを交わすことができた。さらにこのあいさつが大人同士にも浸透して、近隣の目が空き巣等の防止に繋がると、昼間と夜間のパトロールと相まって、防犯カメラ事業との相乗効果も有り、ここ5年連続して空き巣犯罪"0"を更新できている。	毎年10名前後の隊員の入れ替わりがあるが、乗務希望の曜日と時間が重複することが多く、さらに夕刻以降の乗務希望者が減少して、運行スケジュール立てが事務担当者の大きな負担である。2年毎の実施者証の更新講習会の開催手配と、新入隊員への受講手配、保険加入申込み等が増加し事務担当者の負担が増大した。これら事務処理を有償化できないであろうか。H27年度から小中一貫校への移管に伴い、パトロール方法を変更する必要があり、ルートなど検討しなければならない。			日々の地道な活動の成果により、小学校区内でパトロールの認知が高まるなど、犯罪抑止に繋がっていることと評価している。今後パトロール活動の充実を期待する	危機管理課 安全防災事業費	
防犯カメラ設置事業	1,755	電気使用料 47 保守点検委託料28 修繕料 1,680	防犯カメラの増設を行い、空き巣等の犯罪抑制を図る。また既存の防犯カメラの保守管理を実施する。	H22年度に伏尾台への出入口道路である国道側と川西側の2か所に通過車両を撮影できる防犯カメラを設置した。H24年度に第2コミセン南側と細河中学校の南側交差点に同様に防犯カメラを設置した。地域周回道路の東西南北の4か所8台のカメラは、地域に出入りする車両をもちろん撮影し得る状況となった。しかし、北高校の周回路の北側は不法投棄や放火が発生していた。また、その周回路の南東交差点は、園児、小学生、高校生が登校や下校時に横断するが、見守りが不十分であった。	H25年度、北高校の周回路北側の中央付近から西方向に向けて1台の防犯カメラ(A)を設置して、不法投棄や放火を行う不審者を撮影可能にし、同周回路の南東のT字交差点に東西方向に向けて2台の防犯カメラ(B)を設置し、横断者と通行車両を撮影可能にした。また、既設カメラとレコーダーはメンテナンスされた。	警察の捜査にも協力でき、同時実施の安全パトロール事業での青パトロール車の巡回、地域内の防災防犯委員会並びに自治会の防犯活動と相まって、5年連続して空き巣事件"0"を更新した。認知症の方が行方不明になったが、川西側へ出ていったことが記録で確認でき、旧街道脇に転落されているのを発見できた。	H25年度は捜査の記録開示の要請が6件あり、市危機管理課と協議会の立会いのもと開示した。現場での立会い者は日時や天候にかかわらずに長時間を強いられ負担が大きくなり、SD式で記録媒体を取出し、屋内でPCにて記録開示可能にしたい。また認知症の方の救出事例より、夜間撮影が強化されたカメラの設置が望まれる。			地域の危険箇所には防犯カメラを設置することにより、犯罪の発生を未然に防ぐ効果を期待する	危機管理課 安全防災事業費	
防犯防災啓発事業	500	器具費 300 補助金 200	年末の防災訓練用発電機と巡回パトロールを啓発するための用品を購入する。地域住民の防犯・防災意識を高める。	防災・防犯委員会は、自治会連合会より配分される50円×1300戸の予算で運営され、毎年の戸数減で運営費が厳しい状況にある。毎年12月の総合防災訓練での費用も参加人数が300名を超えるため嵩むが、自治会からの配分予算では厳しい状況である。また、自治会連合会主催の夏祭りでは、会場周辺の交通整理と警備を請け負い、毎回70人過の委員が時間差で参加するが、より安全に歩行者を誘導できるように、通行止め期間における照明と事務連絡等が確保されることが望ましい。	ガスボンベによる発電機2台を導入でき、夏祭りに際して、無街灯の4か所でも投光器を点灯できた。導入した無線機2機を使用しパトロール隊員間の事務連絡が円滑になった。12月1日(日)の総合防災訓練で、体育館床に敷くシートを購入、備蓄資機材のメンテナンスを行い、救命講習、避難誘導、炊き出し訓練など7項目の訓練を行った。	自治会主催の夏祭りでの通行止め区間の4箇所での夜間照明を確保でき、無線連絡と相まって安全に交通整理が実施できた。人と防災未来センター並びに神戸市防災施設の見学会が実施でき、参加者全員に感想文を書いてもらい防災意識が高まった総合防災訓練での必要経費を補助金で賄うことができ、350名を超える住民に7項目の訓練を受けてもらうことができた。	夏祭りでの通行止め区間では、身体不自由者らの駐車場入口となる小学校裏門、北高等校門においても無線機の使用が望ましい。総合防災訓練時の引率リーダーの養成のための教育カリキュラムとして、備蓄資機材の使用訓練、見学会を開催したいとの要望があった。			地域内の防災備品を適切に配備・管理することができ、万が一の際に適切な利用されることを期待する。	危機管理課 安全防災事業費	

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

地域行事等活動促進事業	400	補助金	400	地域の夏祭り開催費用の一部を支援する。行事を通して、住民間の交流拡大に努める。	自治会連合会が主催する夏祭りは、各町目の自治会の会員数に応じた分担金で運営されるが、会員数の減少化が進む自治会が増える中、総額を抑えても予算配分に苦慮している状況にあった。夏祭りの一環として子供会が行う御神輿巡行の費用を自治会連合会が負担し、同様にこの予算化についても困難になってきている。	自治会連合会は、盆踊りを行うための予算を、本補助金で充填することができ、又、子供会では本補助金で本御輿、子供たる御輿巡航を行うことができ、その結果、自治会連合会では御輿巡航の負担金もなくなり、予算を圧迫することなく、例年どおりの夏祭りを開催することができた。	地域住民の高齢化と小児化が進む中でも、祭りの時だけは、伏尾台にも多くの子供が住んでいるなど感じられ、地域へ帰省中の若い親子連れも目立ち、毎年入れ替わり初めて開催となる実行委員会のメンバーは、開催して本当によかったと、盛況な夏祭りとなった。	子供会の入会には家庭が自治会員であることが求められ、年々入会する子供が減少し、子供会・自治会両者が減少の悪循環となっている。自治会連合会では、毎年入れ替わる班長、役員で実行委員会を組織して夏祭りを開催し、これが相応の負担で、自治会脱会の主因となっているので、開催経験のある固定的な人員で構成される実行委員会が組織されることを希望する声が多い。重責の嵩む本御輿の担ぎ手である大人の確保に困る状況であり、たる御輿に替えて軽量の木御輿の子供御輿があれば、見守りの大人が少なくとも、子供たちに本御輿を巡航させた思い出を持ってもらえるとの声が多かった。	青バトによる見守りやカメラ設置、イベント開催や子育て支援事業など、色々な分野で事業展開いただいている。息の長い活動とするためにも、参加者の呼びかけにも期待する。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費	
伏尾台地域活性化事業	300	補助金	300	地域住民を対象としたミニコンサートなどのイベントを実施し地域の活性化を図る。	伏尾台センターは、バス停ロータリーがあり、マンションとその1階に商店街、夢の広場と称されるマンションに挟まれる公園、そして第1コミセンが隣接されており、地域の最盛期には大変なにぎわいがあった。現在では、閉じられた商店のシャッターが散見される寂しい所となった。	伏尾台センターにかつてのにぎわいをと、住民が楽しめるコンサートとして3回の「ふしおだい山びこフェスタ」を夢の広場公園、第1コミセン大集會室で開催した。5月18日「フリーマーケットとジャズコンサート」 11月9日「ボーカルコンサート」 3月1日「落語の会」	開催結果を参加人数(0.5時間毎の最大ピーク人数、述べ人数でない)で評価する。夢の広場に立ち寄り20～30分聞いている方。最初から最後まで聞いている方等多くの人に楽しんでもらった。5月18日「ジャズコンサート」1.5時間70～120人 11月9日「ボーカルコンサート」1.5時間60～110人 3月9日室内で開催「落語の会」100人(満席)	毎回参加者にアンケート調査を、年齢、参加動機、参加回数、意見要望を記入する方式で行った。その結果、参加者は異口同音に伏尾台で音楽や落語が楽しめて良かったと言ひ、今後も継続要望が多かった。また、5月と11月はリピーターが多く定着感がある。一方、ボランティアスタッフを集めるが少なく、今後開催の内容、方法を吟味検討しなければならない。	事業概要に基づき適正に予算執行がされている。	観光・ふれあい課 地域活性化事業費		
子育て支援環境整備事業	150	補助金	150	幼児をもつ母親の子育て環境の改善とコミュニケーションの場づくりを行うため、用品等の拡充を図る。	平成22年度に伏尾台第1コミュニティセンター内の一室を使用し、幼児向けの備品を整備し、乳幼児を育てる母親に気軽に集まれる場所として提供し、これを運営する子育て支援グループを立ち上げた。その後毎月、部屋が開設される日時を決めて、無料登録制で参加者を募集する方法で運営している。	幼稚園入園前34組、幼稚園・小学生26組、ボランティア12名登録。 幼児向け備品に加え、体重計や玩具などの乳児用備品を整備し、手ふき等の消耗品も整備し、気楽に集い親子共に遊び解放感を持つ部屋を、週2回開催し維持できた。年間利用数70組。七夕、クリスマスの年2回、全会員宅を手作りプレゼントを持ち訪問して悩みなどの聞き取りをし、支援方法を模索している。 会の卒業会員向けに「親子で遊ぶ会」を8月と3月の年2回開催、総29組が参加。母親向けに5月懇親会、12月講演会「地震から子供を守る」を開催。	整備した「ほっとルームフレンズ」で親交を深めた親子同士がお互いの家や公園に集い、グループで遠出できるようになり、子供と純粋に向き合い遊ぶ時間が持てる人間関係が築けるようになるなどの、初期目的である、密室育児で子育てストレスを溜めてしまうことを防止できる環境を整備維持できている。	新たな未就園児の親子への広報活動並びに新規登録等の事務処理、さらに就園児となった親子らとの交流、相談で訪れる母親への支援等を考えると、支援者の当番制を確立する制度が必要である共に、支援者が常駐できる常設の子育て支援の専用部屋が、第1または第2コミセンに必要である。	少しずつではあるが、オモチャ等の環境整備の充実や季節の楽しい行事等の取り組みにより、親子が居心地よく過ごせる場所として地域に定着している。	子育て支援課 保健福祉事業費		
AED管理事業	9	消耗品費	9	地域に設置されたAEDの維持管理を行い、早期の救命措置に備える。	5年前に阪急バス車庫事務所、伏尾台センターコープ店舗内に設置した。これまで使用されたことがないが、緊急時に備えてメンテナンスが必要である。	阪急バス車庫事務所に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。 伏尾台センターコープ店舗内に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。	午前10時から午後10時まで開店しているコープ店舗内と、24時間常駐されている阪急バス車庫の事務所内に、AEDが使用可能な状態で常備されることになった。	地域住民へのAED設置場所の周知徹底を図ること。 毎年12月に、総合防災訓練で使用体験を実施し、防災防犯委員会の役員で使用訓練を実施しているが、さらに住民向けの使用訓練の機会を設けること。 定期的に設置状態の確認を行うこと。	引き続き、AED設置・管理要領に基づき、維持管理、救命講習の実施に努めていただきたい。	健康増進課 保健福祉事業費		
地域コミュニティ推進協議会拠点運営事業	600	補助金	600	地域住民への協議会活動及び地域分権のPRを目的として協議会活動の運営を行う。	コミュニティ推進協議会の活動拠点として事務所設置を行った。伏尾台周回道路沿いで西公園南側と目立つ場所に看板と掲示板を設置して広報を行い、これを維持している。建築後30年以上経過した簡易型の建物であり、雨漏りや結露が著しく、書類の保管ができず、所謂事務所としての機能を発揮させることができず、晴天時に会議開催程度の活用しかできない。	事務所設置後に、協議会の役員会議を定期的に開催している。また、地域の「防災・防犯委員会」の活動拠点として、会議開催の他、年末の防犯防火の巡回拠点として活用してもらっている。さらに、地域内に季節毎の花を植える活動を行う社協の「花の会」の活動拠点として利用してもらっている。	伏尾台地域に入ってからすぐ目立つ立地条件のもと、webでのグーグル地図にも「伏尾台コミュニティ推進協議会」と表示され、そのストリートビューには黄色い看板が目立っている。コミュニティ推進協議会はもとより、防災・防犯委員会並びに社協の花の会の活動拠点として、それぞれ活用されている。	屋根の改修により、事務所機能が復活し、利用回数が増大した結果、元来老朽化した床の損傷が進行しており、踏み抜けるのも時間の問題となってきた。自治会連合会も事務所がなく、共同利用を望まれるが、専用ロッカーの設置箇所もなく狭く、協議会と自治会連合会の連携強化のためにも新たな拠点が望まれる。	コミュニティ推進協議会の拠点施設として活用されている。	みずとみどりの課 土木事業費		
公園整備事業	750	修繕料	750	公園施設を改修及び充実し、利用者の安全性、利便性の向上を図る。	伏尾台の中央公園は、協議会からの高齢者用運動具並びに幼児用の遊具の整備要望の通りリニューアル工事が実施され、アンケート調査の結果、幼児と高齢者の利用が増加している。利用者増加を踏まえ、協議会では、子供や親たちの意見を聞いて、子育て支援の視線で公園整備を検討した。その結果、古い第1公園では水が扱えない、1丁目第2公園では幼児遊具が不足すること、5丁目公園ではボールがバス通りに飛び出すことが判明した。	伏尾台第1公園には、水飲み・手洗い設備が設置され、伏尾台1丁目第2公園には、幼児用スプリング遊具が設置され、伏尾台5丁目公園には、捕球ネットが設置された。	伏尾台第1公園では、水飲み・手洗い設備が設置されたことにより、特に幼児との親子連れに利便性が向上したと好評である。伏尾台1丁目第2公園では、幼児用スプリング遊具が設置されたことにより、子供たちの利用が増加した。 伏尾台5丁目公園では、ボールを追いかけて道路に出る子供がいることから伏小PTAが危険箇所の一つに指定していたが、捕球ネットが設置されて、その心配が大いに減少した。	協議会の子育て支援事業の担当者グループが、子供や親たちの意見を聞いて、子育て支援の視線で必要か不用品、便利か不便利かを検討し提案する公園整備事業であるが、伏尾台には大小21か所の公園があり、要望が多岐に亘るため、各整備要件に必要性和妥当性から優先順位を付けることに苦労している。	みずとみどりの課 土木事業費			
伏尾台コミュニティ道路整備事業	1,000	補助金	1,000	細河地域コミュニティ推進協議会と協働して地域間を結ぶ散策道の整備を行い、市民の健康増進を図るとともに隣接する地域間の交流を図る。	細河中学校運動場東側は久安寺の里山に隣接しており、山中にある炭焼き小屋跡まで散策できるように、伏尾台の造成時中学校運動場東脇に(1)「階段道とこれに続く平坦道」約200mが造られた。炭焼き小屋跡からは(2)「急なつづら折れ道」約200mと(3)「崖沿いの直線道」約200mを通ると、久安寺山門脇に出る山道がある。(3)「崖沿いの直線道」が道幅が狭く危険で早急な整備が必要であり、伏尾台から久安寺及びグランドゴルフコートへこの散策道で往来し易いように、協同で整備することになり、H23、24年度は(3)「崖沿いの直線道」で拡幅修正及び木質舗装工事が完了した。	(3)「崖沿いの直線道」は、最も危険な絶壁部分(約20m)が市による土留擁壁工事にて拡幅されたが、落下防止のためにH25年度に手すり兼用フェンスを土留擁壁部に立設した。 (2)「急なつづら折れ道」に、今後木質舗装工事を施す下準備として、路面確保の土留補修工事を行った。細河の協議会と伏尾台の協議会が10月～3月まで月交代で、落ち葉の除去清掃を行った。	(3)「崖沿いの直線道」は、傾斜緩やかだが道幅狭く極めて危険であったが、拡幅整備、フェンス設置後は親子連れで子供でも安心して歩ける道になった。 (2)「急なつづら折れ道」に、路面確保の土留補修工事を行ったことで極めて歩きやすくなった。	今後、(2)「急なつづら折れ道」に木質簡易舗装工事を施すことにより、雨天時も歩くことが容易になり、さらに要所に街路灯を設置することによりより安全に散策可能になると考えられる。	道路整備により、より安全で安心な散策道が確保されたと考えられる。	道路課 土木事業費		
市民レクリエーション大会事業	200	行事報償金	200	地域のスポーツ振興会等が開催する事業を支援する。スポーツ意識の高揚に努める。	伏尾台校区住民がスポーツに親しみ気軽に参加できる機会を設け、幼児から高齢者まで楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る目的で、伏尾台校区市民レクリエーション大会実行委員会を組織し、自治会連合会の協賛のもと、伏尾台大運動会を行ってきた。各自治会の組織率の低下にもとまれ、自治会からの参加者並びに協賛金も大きく低下している。	自治会協賛金の低下を補う形の補助金として、必要な運営費用を賄うことが可能になり、参加者の高齢化と運動量の減量化を求める意見を考慮して、例年のプログラムを一部変更した結果、多くの住民が参加して大いに楽しめるスポーツ大会を開催できた。	実行委員会並びに自治会連合会の役員、スタッフともに運営が積極的に行われ、また、各自治会の参加者募集の努力の結果、例年同様に参加者があり、盛況な運動会であった。	自治会連合会から実行委員会へは、盛況な運動会が開催できたことを喜ぶが、他方、参加者の高齢化並びに運動量の減量化を求める意見が出され、現在の丁目毎のチーム編成やプログラムの大幅な見直しの申入れがあった。幼児から高齢者までスポーツを楽しむ交流を深めて地域の活性化を図る初期目的に立ち返り、参加人数を考慮した紅白対抗形式など、従前とは異なる別形態の運動会を模索していく必要がある。	伏尾台スポーツ振興会が中心となり実行委員会を組織し開催する。多くの住民が参加し交流を深めた。	生涯学習推進課 教育事業費		
計	7,541			事業提案限度額	16,810千円	次年度繰越金額	9,269千円					

地域コミュニティ推進協議会事業評価表（平成25年度執行）

合 計	89,864千円	事業提案限度額	120,061千円	次年度繰越金額	30,197千円
-----	----------	---------	-----------	---------	----------